

# 2022年度事業報告

## I 法人本部事務局

### 1 本部の機能強化及び施設の円滑かつ効率的な運営支援

#### (1) コンプライアンスの遵守及びガバナンスの強化

##### ① 理事会・評議員会等の開催

開催日	会議名	議題
6月7日(火)	第1回理事会	議案 第1号議案 2021年度事業報告 第2号議案 2021年度決算報告及び監査報告 第3号議案 会計監査人の選任提案及び報酬額の決定 第4号議案 評議員選任委員会委員の選任 第5号議案 育児・介護休業等に関する規則の一部改正 第6号議案 寄附金等取扱規程の制定 第7号議案 定時評議員会の招集 報告事項 1 中期経営計画の達成状況及び2022年度実行計画 2 社会福祉充実残額の算定結果 3 新型コロナウイルス感染症対応 4 横浜医療福祉センター港南敷地外周の擁壁修繕工事 5 その他(内部通報の状況)
6月28日(火)	定時評議員会	議案 第1号議案 2021年度事業報告 第2号議案 2021年度決算報告 第3号議案 会計監査人の選任 報告事項 1 中期経営計画の達成状況及び2022年度実行計画 2 第二次経営計画の策定 3 新型コロナウイルス感染症対応 4 横浜医療福祉センター港南5棟目開棟状況 5 横浜医療福祉センター港南敷地外周の擁壁修繕工事
8月26日(金) (書面議決)	第2回理事会	議案 第1号議案 評議員候補者の評議員選任委員会への推薦
9月27日(火)	評議員選任 委員会	議案 評議員の選任について(1名)
11月1日(火)	第3回理事会	議案 第1号議案 第2回評議員会の招集 第2号議案 第2次経営計画案に関する意見聴取

		報告事項 1 2022年度上半期の事業報告 2 2022年度上半期の収支状況報告 3 2022年度上半期の中期経営計画の達成状況 4 給与規程及び非常勤職員就業規則の一部改正に係る 理事長専決 5 新型コロナウイルス感染症対応
11月29日(火)	第2回評議員 会	議案 第1号議案 第2次経営計画案に関する意見聴取 報告事項 1 2022年度上半期の事業報告 2 2022年度上半期の収支状況報告 3 新型コロナウイルス感染症対応
3月14日(火)	第4回理事会	議案 第1号議案 2023年度事業計画案 第2号議案 2023年度予算案 第3号議案 施設長の選任及び解任 第4号議案 役員等損害賠償責任保険契約の締結 第5号議案 第2次経営計画案 報告事項 1 2022年度内部監察の結果 2 給与規程の一部改正に係る理事長専決事項 3 福祉サービス等に関する苦情解決に係る第三者委員 の委嘱 4 新型コロナウイルス感染症対応 5 横浜医療福祉センター港南敷地外周の擁壁修繕工事

## ② 内部監察の実施

【監察項目】(7)起案文書の内容(イ)出納管理(ウ)備品管理(エ)兼職の許可等

実施日	施設名
9月12日(月)	横浜医療福祉センター港南
9月14日(水)	横浜療育医療センター
9月21日(水)	地域療育センターあおぼ
9月26日(月)	たちほどがや
9月28日(水)	法人本部事務局

(2) 第2次経営計画の策定(事業計画(3)持続的な法人経営のための新企画提案を含む。)

実施日	活動内容
6月14日(火)	本部会議 原案を提示
7月12日(火)	たちほどがや 第1回ヒアリング
7月14日(木)	横浜療育医療センター 第1回ヒアリング
7月20日(水)	横浜医療福祉センター港南 第1回ヒアリング
7月22日(金)	地域療育センターあおば 第1回ヒアリング
9月13日(火)	横浜療育医療センター 第2回ヒアリング
9月14日(水)	地域療育センターあおば 第2回ヒアリング
9月20日(火)	横浜医療福祉センター港南 第2回ヒアリング
9月21日(水)	たちほどがや 第2回ヒアリング
10月4日(火)	本部会議 第1次調整案の承認
11月1日(火)	第3回理事会 理事及び監事と意見交換
11月29日(火)	第2回評議員会 評議員と意見交換
1月10日(火)	本部会議 最終案提示及び意見交換
2月7日(火)	本部会議 最終案の承認
3月14日(火)	第4回理事会 第2次経営計画議決(確定)
～3月末	各拠点 職員へ周知

### (3) 寄附金受入れ状況

施設名	金額	件数
法人本部事務局	-	-
横浜医療福祉センター港南	452,500円	7件
横浜療育医療センター	3,070,000円	4件
地域療育センターあおば	250,927円	1件
たちほどがや	150,000円	3件
寄附金総額	3,923,427円	15件

※その他寄附物品 16件

2022年7月1日 社会福祉法人十愛療育会寄附金等取扱規程を制定し、第6条の規定に基づき、法人WEBページに事業者のバナー広告を1件掲載した。

広洋産業株式会社

## 2 中・長期的な観点からの人材の確保・育成

### (1) 各施設の安定した運営を支える職員の採用確保

- ・2022年度の常勤職員採用者数、看護師32人、生活支援員26人
- ・各施設と連携した計画的・効果的な確保策を検討・実施(継続)  
県就職フェア3回参加、法人就職説明会14回開催、求人票送付580校

### (2) 時代に適した人材育成策の検討・実施と第2次経営計画の策定

- ・eラーニングによる新人育成研修受講者94人

- ・資格取得支援制度の創設（第2次経営計画）
- ・事務員に対する人権啓発研修の実施（新規）
  - 3グループ 各2回実施
- (3) より働きやすい職場づくりに向けた取組
  - ・育児・介護休業法への対応
    - 法人関係規程の改正及び職員への周知
    - 各法人担当者に対し実務研修を実施
  - ・ハラスメント相談員及び管理職員に対する研修実施（動画配信）

## II 横浜医療福祉センター港南運営事業

2022年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底して事業運営を図った結果、事業縮小等の大きな支障もなく、サービスの継続が図ることができた。5棟目の長期入所の受け入れは、6月から開始し夏期で満床と計画していたが、数名の入所の遅れがあり新長期の受け入れ完了が10月となった。9月に逝去された利用者もおり、最終的に上期は目標値を2.6%下回ったが、下期は0.3%上回った。短期入所については、10月から16床稼働を目指したが、職員の確保が困難となったため、毎月13床程度の受け入れができたものの上半期は目標値の85.6%、下半期は81.5%にとどまった。外来診療はコロナの影響に左右されず全体で5%目標を上回った。

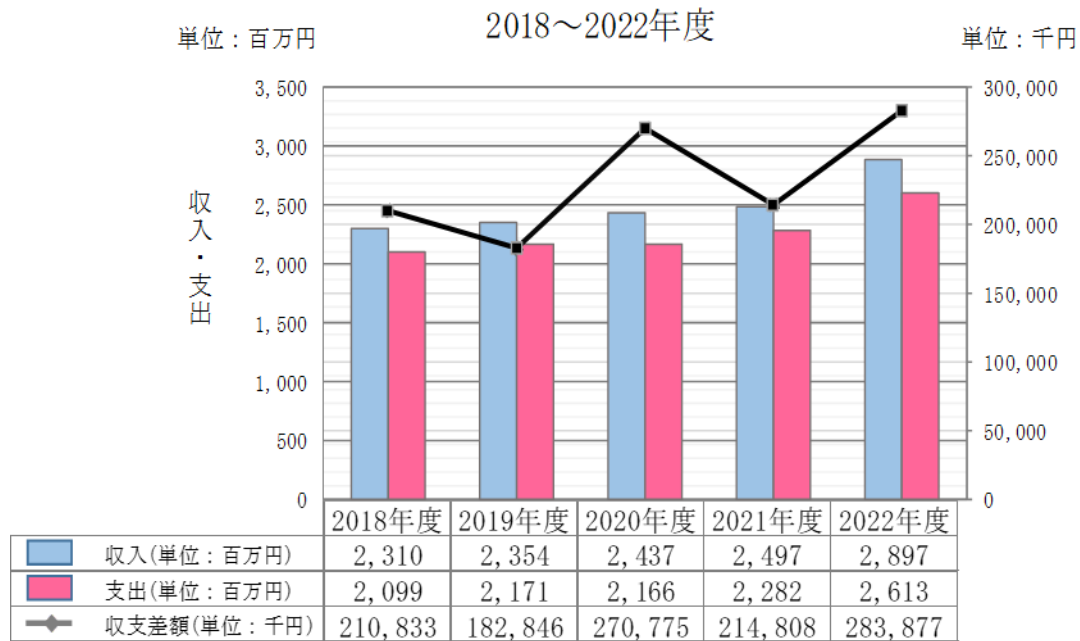
収支の状況は、入所が目標値を下回ったことにより収入減となったが、コロナにかかわる検査増等で医療費収入が増えたため、総収入は増収となっている。支出については、欠員によって人件費が縮減したため、結果として事業収支は予算額を大幅に上回る増収となった。

働きやすい職場環境の整備については、看護助手、事務クレークの非常勤職の採用を進め、看護師、支援員の直接支援の周辺業務を分担することにより、利用者支援の安定化を図ることができた。今後の看護・支援体制を維持していくうえで、有効な取組みと考えている。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名		目標値	実績	達成率
長期入所	上期	131.0名/日	127.6名/日	97.4%
	下期	141.1名/日	141.5名/日	100.3%
短期入所	上期	11.8名/日	10.1名/日	85.6%
	下期	15.7名/日	12.8名/日	81.5%
外来診療		108.5名/日	113.9名/日	105.0%

## 2 資金収支差額の推移



2022年度で長期入所が満床(144床)となった。入院診療収入が好調であったこと、新型コロナウイルス関連の補助金や物価高騰対応支援金が交付されたことによる収入増加、また人件費が抑えられたことにより、収支差額は283,877千円で予算を上回った。

## 3 センター全体の実績

### (1) 長期・短期・入院利用状況

(前年：120床・6+α床・128床)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
長期 (144床)	定数	3,600	3,720	4,560	4,712	4,464	4,320	4,464	4,320	4,464	4,464	4,032	4,464	51,584	43,800	117.8%
	実績数	3,539	3,679	3,598	4,082	4,267	4,187	4,334	4,254	4,407	4,339	3,967	4,455	49,108	42,369	115.9%
	1日平均	118.0	118.7	119.9	131.7	137.6	139.6	139.8	141.8	142.2	140.0	141.7	143.7	134.5	116.1	115.9%
	占床率	98.3%	98.9%	78.9%	86.6%	95.6%	96.9%	97.1%	98.5%	98.7%	97.2%	98.4%	99.8%	95.2%	96.7%	98.4%
短期 (入院含む 16床)	定数	240	248	240	248	496	480	496	480	496	496	448	496	4,864	2,190	222.1%
	実績数	291	290	276	279	335	377	398	417	321	395	370	424	4,173	3,076	135.7%
	1日平均	9.7	9.4	9.2	9.0	10.8	12.6	12.8	13.9	10.4	12.7	13.2	13.7	11.4	8.4	135.7%
	占床率	121.3%	116.9%	115.0%	112.5%	67.5%	78.5%	80.2%	86.9%	64.7%	79.6%	82.6%	85.5%	85.8%	140.5%	61.1%
総合計 (160床)	定数	3,840	3,968	4,800	4,960	4,960	4,800	4,960	4,800	4,960	4,960	4,480	4,960	56,448	46,720	120.8%
	実績数	3,830	3,969	3,874	4,361	4,602	4,564	4,732	4,671	4,728	4,734	4,337	4,879	53,281	45,457	117.2%
	1日平均	127.7	128.0	129.1	140.7	148.5	152.1	152.6	155.7	152.5	152.7	154.9	157.4	146.0	124.5	117.2%
	占床率	99.7%	100.0%	80.7%	87.9%	92.8%	95.1%	95.4%	97.3%	95.3%	95.4%	96.8%	98.4%	94.4%	97.3%	97.0%

## (2) 外来利用状況

### 外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	719	606	784	664	825	750	727	857	862	743	609	845	8,991	8,312	108.2%
耳鼻科	51	36	50	42	37	46	44	37	45	45	33	56	522	525	99.4%
リハビリテーション課	999	926	1,157	961	1,008	1,047	1,038	984	853	990	958	1,128	12,049	11,941	100.9%
整形外科	38	36	38	38	34	41	37	42	36	34	33	46	453	365	124.1%
皮膚科	7	10	13	7	8	12	8	11	5	11	5	5	102	100	102.0%
精神科	34	41	47	44	46	40	37	35	49	46	45	50	514	450	114.2%
歯科	175	193	190	196	179	173	190	173	162	207	185	205	2,228	1,995	111.7%
短期外来	309	291	275	279	336	376	403	418	324	382	359	425	4,177	3,123	133.7%
外来者総数	2,332	2,139	2,554	2,231	2,473	2,485	2,484	2,557	2,336	2,458	2,227	2,760	29,036	26,811	108.3%
1日平均	111.0	107.0	111.0	106.2	107.5	118.3	118.3	121.8	111.2	122.9	111.4	120.0	113.9	105.6	107.9%

## (3) 地域交流

### ① ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	0	1	6	4	1	5	4	3	7	3	3	5	42	122	34.4%
活動延べ回数	0	1	18	24	5	25	21	12	16	15	15	18	170	122	139.3%

2/26 より新型コロナウイルス感染症対策により、利用者と接触を伴うボランティア活動（理美容除く）及びボランティア行事を中止している。裁縫ボランティアは週1回、4～5名が来館し、利用者の衣類や寝具等の修繕を行った。理美容サービスについては、理美容業者が適切な感染対策を講じて継続することとし、ボランティアではなく正規の理美容サービスとして提供した。新規ボランティア登録は0件であったが、今後受け入れ体制を整備している。地域行事として一月に開催した「二十歳を祝う会」では、日本ホスピタルクラウン協会よりクラウンを招き、二十歳の門出を祝うことができた。



とちのき祭 「裁縫ボランティアバザー」



裁縫ボランティアへの依頼



「手作りおやつ工房とさか」



成人式装飾花

#### 公開講座 ※とちのき講座

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、中止している。

## 4 各部署の報告

### (1) 診療部門

2022年は4月に小児科医師2名、歯科医師1名を採用した。5棟目となる3W棟が新規開棟し24名の新規入所者が順次入所したが、大きな問題なく受け入れが終了し、5棟全棟における長期入所者は計144名（うち児童24名）となった。人工呼吸器装着者は22名であり、重症度・医療度は年々増加している。診療課では毎日のカンファレンスで個々の症状について共有、検討を行っている。また2022年度は新たな取り組みとして非常勤の外科医師により長期入所者の乳がん検診を開始し、全対象者の触診・超音波検査を行った。また脊髄性筋萎縮症の利用者に対する遺伝子修飾薬の投与などを開始した。

学術面では、9月に根津センター長が、日本ボツリヌス治療学会を主催し基調講演を行った。また、小児神経学会総会や神奈川小児神経懇話会、日本てんかん学会等に多くの医局員が参加し、精力的に学会発表を行った。

2022年は世界的に新型コロナウイルスが猛威を振るったが、港南においても8月の第7波、12～1月の第8波の時期に長期入所者・職員の感染事例が発生した。長期入所の感染者の多くは院内でコロナウイルス治療薬を適切に投与し軽快したが、1月の第8波での感染拡大時には3名の利用者が中等症との判断で地域医療施設に転院して治療を受けた。死亡事例や重篤後遺症の発生はなかった。

外来診療については医師の増加により外来診察枠が増え、また必要に応じ電話再診なども活用し、コロナ禍においても診療件数は大幅に増加した。



(2) 診療支援部門

①リハビリテーション課

ア 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	359	419	580	486	474	644	526	497	438	471	492	559	5,945	6,445	92.2%
	作業療法	337	315	373	326	352	341	356	329	314	346	325	372	4,086	3,801	107.5%
	言語聴覚療法	287	259	324	257	289	266	279	244	218	277	271	329	3,300	3,293	100.2%
	臨床心理	105	105	149	121	129	127	130	145	120	133	130	171	1,565	1,626	96.2%
入所	理学療法	99	88	88	97	91	92	257	233	148	95	154	190	1,632	2,876	56.7%
	作業療法	29	46	57	51	38	45	57	50	32	32	46	47	530	445	119.1%
	言語聴覚療法	56	55	71	48	41	76	102	91	72	43	76	58	789	1,020	77.4%
	臨床心理	14	22	24	31	49	22	37	22	17	14	16	15	283	285	99.3%
合計	理学療法	423	480	547	535	531	550	783	730	586	566	646	749	7,126	9,321	76.5%
	作業療法	404	404	452	455	450	425	413	379	346	378	371	419	4,896	4,246	115.3%
	言語聴覚療法	338	325	382	356	359	369	381	335	290	320	347	387	4,189	4,313	97.1%
	臨床心理	133	141	172	164	192	153	167	167	137	147	146	186	1,905	1,911	99.7%
	総合計	1,298	1,350	1,553	1,510	1,532	1,497	1,744	1,611	1,359	1,411	1,510	1,741	18,116	19,791	91.5%
	1日平均件数	61.8	67.5	67.5	71.9	66.6	71.3	87.2	76.7	68.0	74.3	83.9	79.1	73.0	79.6	91.7%

イ 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	10	9	15	10	7	5	8	9	6	4	7	10	100	98	102.0%
作業療法	12	12	12	10	10	9	5	9	12	5	9	4	109	138	79.0%
言語聴覚療法	14	12	9	7	9	6	6	9	4	9	7	9	101	123	82.1%
臨床心理	17	9	13	9	8	7	6	6	5	8	5	7	100	149	67.1%
合計	53	42	49	36	34	27	25	33	27	26	28	30	410	508	80.7%

ウ スタッフの派遣

1 1月より開始 かがやき、朋、朋第二 各施設へ 理学療法士 (PT) 3名派遣  
リハテラーへ 言語聴覚士 (ST) 2名派遣

エ 職員数 リハ部門定数 27名

- ・理学療法士 常勤 10名 2名退職 (5月末・8月末)
- ・作業療法士 常勤 6名
- ・言語聴覚士 常勤 6名
- ・臨床心理士 常勤 3名

②薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科	処方箋枚数	0	0	0	0	1	0	1	0	2	2	0	1	7	1	700.0%
	処方件数	0	0	0	0	2	0	1	0	2	2	0	2	9	1	900.0%
	調剤数	0	0	0	0	2	0	1	0	2	2	0	2	9	1	900.0%
神経小児科	処方箋枚数	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1	1	1	8	8	100.0%
	処方件数	0	0	0	3	0	1	1	0	1	1	2	2	11	11	100.0%
	調剤数	0	0	0	3	0	2	1	0	1	1	2	2	12	11	109.1%
耳鼻咽喉科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
内科	処方箋枚数	18	0	0	0	1	0	4	0	3	1	0	0	27	65	41.5%
	処方件数	18	0	0	0	2	0	5	0	3	1	0	0	29	65	44.6%
	調剤数	18	0	0	0	2	0	5	0	3	1	0	0	29	65	44.6%
神経内科	処方箋枚数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	6	11	54.5%
	処方件数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	6	11	54.5%
	調剤数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	1	6	11	54.5%
歯科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
精神科	処方箋枚数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.0%
皮膚科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	
救急外来	処方箋枚数	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	9	33.3%
	処方件数	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	16	18.8%
	調剤数	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	17	17.6%
健診科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
	処方件数	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	
	調剤数	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	0	

入院・入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	392	285	263	214	218	247	205	191	245	271	183	297	3,011	3,914	76.9%
	処方件数	1,412	981	779	748	500	983	752	454	675	1,098	430	808	9,620	12,067	79.7%
	調剤数	2,163	1,438	1,179	1,116	718	1,459	1,159	617	956	1,598	578	1,112	14,093	18,336	76.9%
2E棟	処方箋枚数	404	371	265	312	317	457	216	329	389	498	270	472	4,300	4,405	97.6%
	処方件数	1,201	1,070	723	1,047	921	1,587	420	1,021	1,084	1,625	642	1,754	13,095	12,778	102.5%
	調剤数	1,520	1,421	935	1,421	1,184	2,229	649	1,396	1,477	2,276	832	2,428	17,768	16,737	106.2%
2W棟	処方箋枚数	310	443	233	318	239	215	482	208	337	406	289	282	3,762	4,107	91.6%
	処方件数	1,120	1,725	820	1,272	658	752	2,100	333	1,051	1,533	874	1,041	13,279	13,463	98.6%
	調剤数	1,647	2,550	1,227	1,835	847	1,090	2,948	439	1,408	2,089	1,188	1,410	18,678	19,798	94.3%
3E棟	処方箋枚数	183	374	301	237	296	204	345	247	219	241	375	330	3,352	3,691	90.8%
	処方件数	466	1,312	1,084	881	1,053	475	1,389	846	505	864	1,398	1,148	11,421	11,454	99.7%
	調剤数	653	1,998	1,565	1,337	1,586	630	2,061	1,182	663	1,217	1,934	1,626	16,452	16,959	97.0%
3W棟	処方箋枚数	0	0	232	215	274	335	236	248	281	248	263	396	2,728	0	
	処方件数	0	0	753	543	1,014	1,154	714	861	662	787	942	1,421	8,851	0	
	調剤数	0	0	1,026	714	1,437	1,637	1,020	1,181	880	1,061	1,315	1,960	12,231	0	

イ 注射院内処方

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
1E棟	処方箋枚数	126	103	46	23	54	88	76	29	94	28	48	41	756	1,037	72.9%
	処方件数	338	202	116	52	98	225	144	59	193	71	99	69	1,666	2,822	59.0%
	調剤数	480	261	158	80	131	333	197	76	253	112	136	101	2,318	4,268	54.3%
2E棟	処方箋枚数	80	118	108	77	153	93	68	121	75	57	72	81	1,103	1,095	100.7%
	処方件数	221	332	332	235	413	269	160	303	206	198	298	295	3,262	3,772	86.5%
	調剤数	378	515	510	414	693	482	288	499	395	374	550	479	5,577	5,752	97.0%
2W棟	処方箋枚数	29	29	46	59	45	54	97	162	143	82	89	38	873	1,041	83.9%
	処方件数	67	62	116	176	158	146	206	399	493	218	179	111	2,331	2,365	98.6%
	調剤数	95	89	164	258	250	214	297	592	713	286	249	174	3,381	3,328	101.6%
3E棟	処方箋枚数	77	69	65	69	106	116	111	71	73	76	65	65	963	788	122.2%
	処方件数	187	168	193	161	297	271	213	212	193	199	186	105	2,385	1,648	144.7%
	調剤数	249	223	239	190	396	341	258	276	227	261	259	117	3,036	2,286	132.8%
3W棟	処方箋枚数	0	0	29	87	90	54	65	58	83	97	56	24	643	0	
	処方件数	0	0	68	176	207	126	118	126	222	218	141	59	1,461	0	
	調剤数	0	0	88	245	306	172	159	162	304	296	205	75	2,012	0	

職員体制は薬剤師5名（常勤4名 非常勤1名）、薬剤事務員1名（限定常勤1名）で調剤業務を行っている。調剤業務として、5棟目開棟により総合計は前年度に比べ増加している。

③検査課

ア 院内検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	2	6	5	6	2	5	5	7	8	4	6	9	65	62	104.8%
血算	35	44	50	33	28	49	37	42	45	26	27	49	465	400	116.3%
電解質	33	40	41	27	25	47	354	41	43	24	23	47	745	351	212.3%
血中薬物濃度	21	21	35	19	14	27	26	23	24	15	16	29	270	221	122.2%
血液ガス分析	2	5	1	3	0	4	2	4	5	2	4	1	33	29	113.8%
尿定性	15	23	22	17	16	24	17	17	19	14	18	27	229	173	132.4%
尿沈渣	14	21	17	14	15	19	15	16	17	14	15	25	202	147	137.4%
迅速検査	1	1	0	12	1	4	0	3	5	0	6	2	35	31	112.9%
新型コロナウイルス抗原	2	3	0	12	1	0	0	3	4	0	4	3	32	28	114.3%
新型コロナウイルス核酸	39	37	44	40	53	56	53	56	40	52	50	57	577	82	703.7%
肝炎ウイルス検査	0	3	3	3	12	9	0	0	0	0	0	0	30	15	200.0%
心電図	1	3	7	5	1	3	2	4	3	3	3	2	37	29	127.6%
心電図+CVRR	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	4	50.0%
脳波	4	2	6	8	13	9	8	7	11	0	7	12	87	85	102.4%
聴力検査	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1	0	0	12	9	133.3%
超音波検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.0%
合計	171	210	232	200	183	257	521	225	225	155	179	263	2,821	1,668	169.1%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	79	110	87	78	143	106	86	103	114	94	87	68	1,155	1,214	95.1%
血算	82	114	90	79	149	111	97	107	119	96	94	73	1,211	1,242	97.5%
電解質	74	102	82	70	121	88	76	92	88	68	61	55	977	1,051	93.0%
血中薬物濃度	8	18	11	20	26	35	41	61	27	28	31	24	330	321	102.8%
血液ガス分析	70	74	61	61	107	63	66	81	93	74	58	49	857	850	100.8%
尿定性	22	29	31	36	61	48	36	72	52	34	43	34	498	417	119.4%
尿沈渣	19	23	26	28	48	40	24	64	42	30	37	29	410	327	125.4%
迅速検査	21	38	26	33	54	41	19	35	26	39	24	17	373	627	59.5%
新型コロナウイルス抗原	8	17	10	13	54	37	28	35	41	36	24	19	322	149	216.1%
新型コロナウイルス核酸	5	6	8	24	31	15	13	24	23	41	15	12	217	57	380.7%
肝炎ウイルス検査	0	0	6	3	6	3	0	0	0	0	0	0	18	0	
心電図	3	1	9	9	8	17	13	18	14	3	9	4	108	94	114.9%
心電図+CVRR	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	4	10	40.0%
脳波	1	2	2	2	1	1	2	3	1	3	1	2	21	27	77.8%
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
超音波検査	3	6	5	2	3	3	6	8	7	2	4	3	52	49	106.1%
乳がん検診超音波検査	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	27	0	
合計	395	540	454	458	812	608	535	703	649	549	488	389	6,580	6,435	102.3%

イ 外注検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	621	795	872	547	543	881	706	750	720	527	437	889	8,288	7,174	115.5%
細菌培養	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	6	16	37.5%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新型コロナウイルスPCR	0	1	0	18	124	0	0	37	77	29	0	0	286	274	104.4%
合計	623	796	872	566	667	881	706	788	798	556	438	889	8,580	7,464	115.0%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	906	1158	800	924	1419	1283	1286	1470	1198	1278	1471	1047	14,240	15,147	94.0%
細菌培養	36	54	49	57	88	58	52	92	52	67	63	46	714	625	114.2%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
新型コロナウイルスPCR	0	0	0	9	109	0	0	32	25	49	0	0	224	186	120.4%
合計	942	1,212	849	990	1,616	1,341	1,338	1,594	1,275	1,394	1,534	1,093	15,178	15,959	95.1%

濃厚接触者・無症状者及び短期入所者の入所前スクリーニング検査として、NEAR法による新型コロナウイルス核酸検査を継続実施。全ての新型コロナウイルス関連検査で大幅に件数が増加。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策等により延期されていた、対象入所者への乳がん検診 超音波検査を7月に初めて実施した。



5棟目開棟により、入所食数の経口食は前年比約10%増加、胃瘻食は16%～19%増加、経管栄養食は13%増加した。

### (3) 居住支援部門

#### ①長期入所利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規入所受入れ	1	0	7	13	2	2	1	1	0	0	1	0	28	6	466.7%
1E棟	720	735	514	468	484	449	454	451	496	490	447	496	6,204	8,567	72.4%
2E棟	956	991	796	852	946	959	974	959	980	989	889	989	11,280	11,376	99.2%
2W棟	933	992	821	902	924	956	986	954	988	986	892	987	11,321	11,068	102.3%
3E棟	930	961	840	956	953	893	960	930	961	942	880	991	11,197	11,358	98.6%
3W棟	-	-	627	904	960	930	960	960	982	932	859	992	9,106	0	
小計	3,539	3,679	3,598	4,082	4,267	4,187	4,334	4,254	4,407	4,339	3,967	4,455	49,108	42,369	115.9%
1日平均(日/床)	118.0	118.7	119.9	131.7	137.6	139.6	144.5	141.8	146.9	144.6	132.2	148.5	134.5	116.1	115.9%

5棟目開棟に伴い、6月より新規入所の受入れを行い10月末で完了した。また、利用者の逝去に伴う空床の2床についても11月と2月に受入れを行い満床となった。

#### ②日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数(回)	32	30	31	29	30	32	29	29	24	21	27	30	344	309	111.3%
参加人数(人) 延べ	139	130	123	131	160	163	149	122	123	98	176	157	1,671	1,549	107.9%

#### 【活動内容】・スポーツ活動(ボーリング、ボッチャ)

- ・音楽活動(音シアター、ミュージックケア)
- ・創作活動(季節の装飾)
- ・リラクゼーション活動(リフレクソロジー、スヌーズレン)
- ・その他(クリスマスプログラム)



(4) 在宅支援部門

①短期・入院利用等実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比	
短期入所 (延数)	1E棟	291	290	276	279	335	377	398	417	309	385	359	424	4,140	2,943	140.7%
	2E棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.0%	
	2W棟	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8	100.0%	
	3E棟	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	121	3.3%
	3W棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	291	290	276	279	335	377	398	417	321	385	359	424	4,152	3,076	135.0%
	1日平均(日/床)	9.7	9.4	9.2	9.0	10.8	12.6	12.8	13.9	10.4	12.4	12.8	13.7	11.4	8.4	135.9%
申し込み(件数)	53	53	50	53	55	59	47	56	47	48	58	60	639	510	125.3%	
利用不可(件数)※	13	15	6	13	3	2	0	3	2	2	7	4	70	61	114.8%	
入院 1E棟のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	10	12	83.3%	

※満床等の理由により入所対応ができなかった件数

コロナ感染対策や人員不足等の理由により市内の各施設が相次いで短期入所事業を停止もしくは縮小したため、申込件数が前年度よりも増加している。8月より短期入所枠を増やし、でき得る限りの対応をしたが、利用不可件数も増加する結果となった。

②医療福祉相談室

相談調整業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
受診相談	88	101	111	94	80	74	92	77	114	116	106	139	1,192	1,368	87.1%
関係機関調整	168	203	185	148	162	128	134	116	139	137	150	169	1,839	1,598	115.1%
一般相談(※二次相談含む)	201	135	162	120	108	114	109	78	70	70	55	61	1,283	787	163.0%
短期入所・相談調整	264	243	270	265	315	343	345	273	260	290	253	280	3,401	2,955	115.1%
計画相談支援・相談調整	55	44	47	64	58	58	40	113	55	42	51	61	688	600	114.7%
合計	776	726	775	691	723	717	720	657	638	655	615	710	8,403	7,308	115.0%

計画相談支援業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
立案数	3	5	4	5	8	8	2	3	3	4	1	4	50	43	116.3%
モニタリング数	3	8	6	9	10	4	6	12	7	5	9	7	86	54	159.3%
合計	6	13	10	14	18	12	8	15	10	9	10	11	136	97	140.2%

一般相談は発達障害をお持ちの方からの相談が多く、その中でも家庭内に様々な課題を抱えた多問題ケースが増えてきている。

二次相談事業は支援機関の職員へのスーパーバイズを求められることが多く、専門機関としてのニーズの高さを感じている。

(5) 安全管理部門

インシデント・アクシデント件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
レベル	0	4	6	11	6	3	3	8	5	5	8	9	8	76	44	172.7%
	1	25	18	37	38	16	27	18	21	13	20	22	19	274	223	122.9%
	2	19	15	20	23	15	12	17	17	11	6	14	13	182	234	77.8%
	3-a	5	8	5	6	10	4	5	2	4	4	9	6	68	66	103.0%
	3-b	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	40.0%
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%

レベル 3-b 骨折事例 2 件

(6) 管理部門

管理課

職員採用状況

職種	医師	看護師	生活支援員	福祉相談員	理学療法士	言語聴覚士	合計
採用者	3	26	18	0	1	1	49
退職者	0	11	6	2	3	0	22

5 棟目開棟に伴い看護師、生活支援員を中心に雇用を行った。



### Ⅲ 横浜療育医療センター運営事業

過去2年以上、新型コロナウイルス感染症対策を臨機応変に運用しながら継続してきたが、2022年度は感染力が各段に強いオミクロン株の流行により、長期入所者に計8名の罹患者が発生した。しかし、全員が当施設内での治療で後遺症なく治癒し、また大きなクラスターに進展することなく終息し、それまでの感染対策が功を奏した形となった。

センター港南が全床開床により短期入所ベッドを増床したことに呼応し、両施設合計の短期入所ベッド数を維持することを条件として、横療では、長期的な危機管理の観点から、A棟、B棟で長期入所ベッドと短期入所ベッドが隣接していることによる感染拡大リスクを低減すること、および感染流行時の短期入所制限による経営の不安定さを回避することを趣旨として、各ベッドの定数の見直しを行った。その結果、長期入所を8床増やし、短期入所を従来のA、B、C棟合わせて15床から9床に減らした。しかし、年度途中から離職者が増加したため、予定していた短期入所者数を維持することが難しくなり、在宅利用者には大きな不便をかけることになった。

欠員者数の増加は、居住部門、在宅支援部門ともに、職員一人ひとりの業務量の増大を招いた。ヘルパーステーションまいは一とでは業務を大幅に縮小せざるを得ず、また居住棟や通所の職員には時間外業務の増加を含めて、過剰な業務負担を求めざるを得ない状況となった。こうした状況が、インシデントの増加、特にレベル2以上の影響の大きなインシデントの増加につながったのではないかと考えられる。

長期入所者の生活の質を向上するための日中活動についても、担当職員の欠員により十分な活動が行えなかった。一方、入所者の高齢化を反映して悪性腫瘍の発生が多い一年となった。アドバンス・ケア・プランニング（ACP）への取り組みがさらに重要さを増している。

欠員に伴い職員一人ひとりの業務量が増大する中で、対人業務以外の業務を効率化する目的で院内ネットワークの強化とICTの推進を目標の一つに挙げたが、世界的な電子部品の調達不足のあおりを受けて年度内に完了できなかった。引き続き次年度に整備を行う予定である。

年度目標の一つであった人材確保と職員満足度の向上については、様々な策を講じたが、離職の防止と新規採用者の確保は思うようにできなかった。しかし、次年度以降の採用増を目指して、学生を対象とした国内各地の就職合同説明会にブースを出すなどの積極的なPR活動を展開した。次年度以降の成果を期待したい。

総括として、職員の欠員数の増加によって、各部署における業務の縮小と現職員への過剰な負担を強いた1年であったが、新たに開始したプロモーション活動が人員確保につながるとともに、現職員の満足度が向上するような取り組みを行うことによって、横療が本来有している“強み”を活かせる体制を構築したい。

## 1 「数値目標」に対する評価

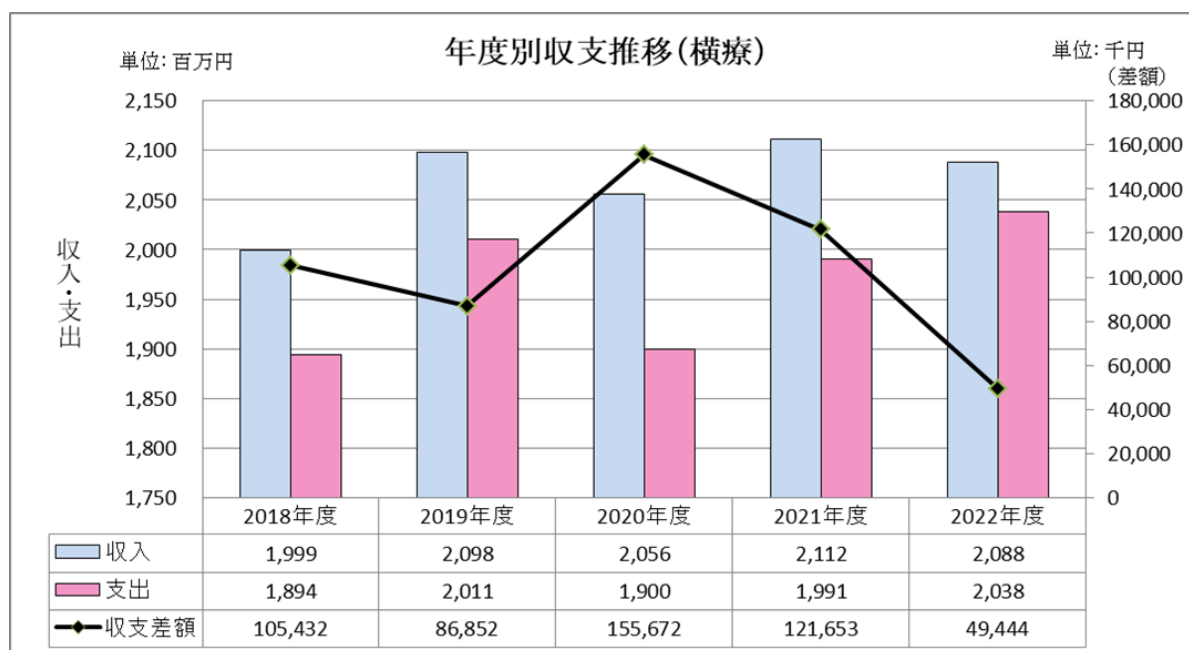
事業名	目標値	実績	達成率
長期入所 ※1	87名/日	89.3名/日	102.6%
短期入所 ※1	15名/日	10名/日	66.7%
外来診療 (短期入所外来を含む)	86名/日 ( 101名/日)	86.4名/日 96.3名/日	100.3% 95.2%
生活介護 (通所)	18名/日	16.2名/日	90.6%
訪問看護ステーションえーる	165件/月	178名/月	107.9%
放課後等デイサービスはみんぐ	4.9名/日	4.9名/日	100.0%
ヘルパーステーションまいはーと	650件/月	494件/月	76.0%
保育室ひかり	※2 17名/月	16名/日	94.1%
病児保育室あさひ	2.2名/日	2.2名/日	100.0%

※1 2022年12月～長期入所95床・短期入所9床・入院1床に定数見直し

※2 毎月の契約数

## 2 資金収支差額の推移

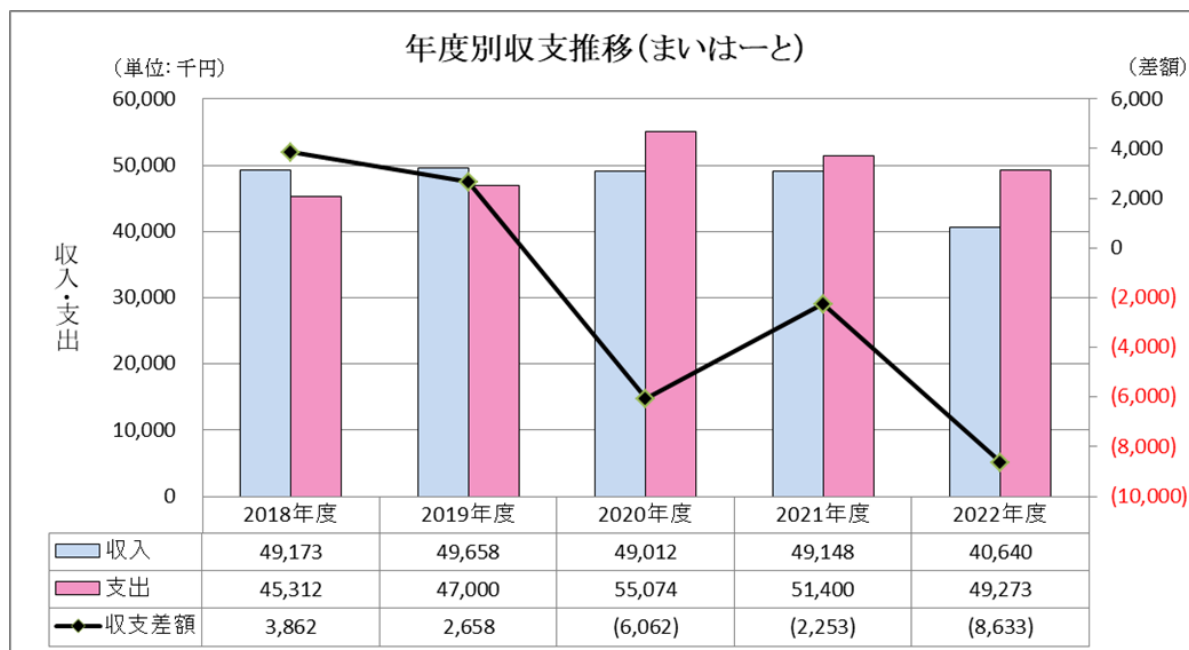
### (1) 横浜療育医療センター



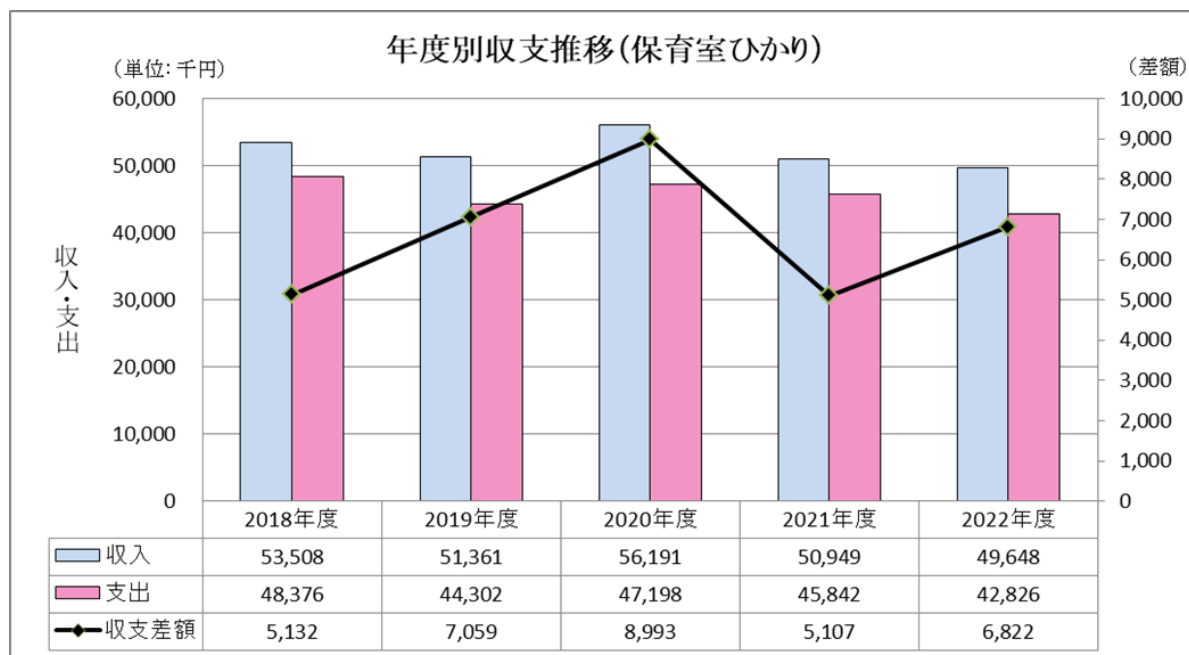
2022年10月～12月にかけて、長期入所95床・短期入所9床・入院1床に定数の見直しを行ったが、収入については、概ね予算どおりとなった。

支出については、新型コロナウイルスや世界情勢の大きな変化に伴い、世界的に物価高騰が進み、医薬品や診療材料・水道光熱費が予算比20%増となった。

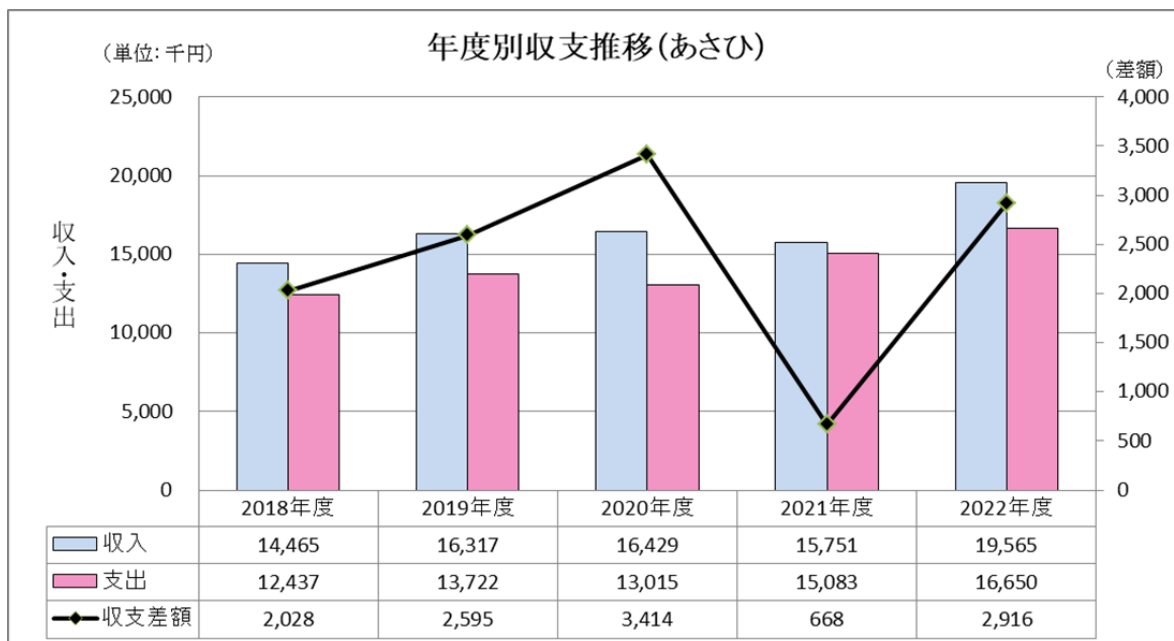
(2) ヘルパーステーションまいはーと



(3) 保育室ひかり



(4) 病児保育室あさひ



3 センター全体の実績

(1) 長期・短期入所利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期 87床	定数	2,610	2,697	2,610	2,697	2,697	2,610	2,697	2,610	2,945	2,945	2,660	2,945	32,723	31,755	103.0%
	実績数	2,609	2,685	2,587	2,687	2,680	2,588	2,718	2,742	2,900	2,897	2,604	2,889	32,586	31,653	102.9%
	1日の平均	87.0	86.6	86.2	86.7	86.5	86.3	87.7	91.4	93.5	93.5	93.0	93.2	89.3	86.7	103.0%
	占床率	100.0%	99.6%	99.1%	99.6%	99.4%	99.2%	100.8%	105.1%	98.5%	98.4%	97.9%	98.1%	99.6%	99.7%	99.9%
短期 15床	定数	450	465	450	465	465	450	465	450	279	279	252	279	4,749	5,475	86.7%
	実績数	356	375	416	431	305	417	428	262	176	189	157	133	3,645	5,120	71.2%
	1日の平均	11.9	12.1	13.9	13.9	9.8	13.9	13.8	8.7	5.7	6.1	5.6	4.3	10.0	14.0	71.1%
	占床率	79.1%	80.6%	92.4%	92.7%	65.6%	92.7%	92.0%	58.2%	63.1%	67.7%	62.3%	47.7%	74.5%	93.5%	79.7%
合計 105床	定数	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	3,150	3,255	3,150	3,255	3,255	2,940	3,255	38,325	38,325	100.0%
	実績数	2,965	3,060	3,003	3,118	2,985	3,005	3,146	3,004	3,076	3,086	2,761	3,022	36,231	36,773	98.5%
	1日の平均	98.8	98.7	100.1	100.6	96.3	100.2	101.5	100.1	99.2	99.5	98.6	97.5	99.3	100.7	98.5%
	占床率	94.1%	94.0%	95.3%	95.8%	91.7%	95.4%	96.7%	95.4%	94.5%	94.8%	93.9%	92.8%	94.5%	96.0%	98.5%

※2022年12月～長期入所95床・短期入所9床・入院1床に定数見直し

## (2) 外来利用状況

外来・診療状況（リハビリ、歯科含む。）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科・内科	659	682	711	697	687	637	577	602	624	594	549	697	7,716	8,709	88.6%
耳鼻科	39	29	27	33	19	33	38	18	25	36	25	40	362	351	103.1%
リハビリテーション課	722	779	833	726	768	846	825	764	781	745	712	884	9,385	10,241	91.6%
整形外科	24	10	22	16	19	23	21	14	23	34	22	28	256	127	201.6%
皮膚科	9	4	12	5	4	8	4	3	8	4	5	8	74	85	87.1%
精神科	16	15	21	15	20	19	22	17	24	31	19	30	249	160	155.6%
歯科	138	158	238	173	147	172	177	164	160	168	209	169	2,073	1,894	109.5%
短期外来	355	371	415	431	303	414	420	262	177	189	157	133	3,627	5,100	71.1%
放デイ外来（2021年度から）	75	69	76	69	75	78	72	70	64	68	66	80	862	890	96.9%
外来者総数	2,037	2,117	2,355	2,164	2,040	2,230	2,156	1,914	1,886	1,869	1,764	2,069	24,601	26,667	92.3%
1日平均（短期除く）	84.1	91.9	88.2	86.7	79.0	90.8	86.8	82.6	85.5	88.4	84.6	88.0	86.4	88.8	97.3%
1日平均	95.9	103.9	102.0	100.6	88.7	104.6	100.3	91.3	91.2	94.5	90.2	92.3	96.3	103.1	93.4%

## (3) 地域交流

ボランティア受け入れ

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動回数	10	13	15	12	3	9	13	25	19	16	21	9	165	106	155.7%
活動延べ回数	25	24	27	27	11	30	33	40	30	16	21	8	292	251	116.3%

感染拡大防止対策は引き続き続いているため、全面的な再開にはまだまだ時間がかかりそうである。しかし、年度当初は難しいと思われた対面での行事が、久しぶりに実現できたことは大きな前進であった。また、状況を見ながら可能な時にはできるだけ迅速に対応することで、少しずつではあるがボランティア受け入れが増えていく方向にある。

## 4 各部署の報告

### (1) 診療部門

#### ① 外来診療

新型コロナウイルスの影響は前年度より減少したものの、職員や利用者間での感染による一時的な利用者数の減少があった。他方で、児童精神科や整形外科枠の拡大に伴う受診者の増加もあり、短期入所利用を除く生活介護および外来診療利用者数は目標値に到達した。歯科、耳鼻科についても前年度同様の受診者数を維持できた。

新型コロナワクチン接種についても、8月に集団接種を行い、その後は外来診療枠で、他院で接種困難な利用者及びその家族を対象に継続的に行った。

外来診療における発達障害児者の受診希望が年々増加しており、心理を含みリハビリ体制の拡充の問題、関連機関との連携、紹介元への情報提供の方法など、検討すべき点を複数抱えている。

救急外来も前年度同様、平日時間内のみとし、在宅往診医との併診で対応するケースも増えている。入院病床の確保は今後も続くと思われ、当院主治医のケースが重症化した場合の具体的な対応策を考える必要がある。

## ②入所・入院・通所

長期入所は入所枠調整に伴い、10月～短期入所利用者を漸減または中止しつつ、AB各棟で4名ずつの新規利用者を10月より順次受入れた。12月には両棟ともに長期利用者のみとなった。また12月に利用者1名が逝去され、3月に新規長期入所者を迎えて満床となった。

短期入所についてはC棟のみで対応する方針となり、10月以降順次調整しながら受入れを計画したが、職員欠員数の増加もあり、当初予定8床の受入れが困難となった。より安全および安定した入所利用を維持するため、12月以降は50～60%の占床率で推移した。A・B棟においては対応可能な場合には緊急入所を受け入れた。短期入所利用件数の著しい減少については、今後、センター全体として対応する必要がある。

入院は前年度同様、職員欠員と感染対策のため受け入れ困難な状況が続いている。

通所は昨年度までの感染対策を継続し、環境調整にも慣れ、利用者間での感染例は無かった。感染により自粛していた利用者も徐々に通所再開し、利用者数は前年度より安定した。昨年度は新規利用者のほか外部実習の受入れはできなかったが、今年度は外部実習を受入れることができた。利用希望者の重症度が高く、結果として体調不良による欠席も増え、在籍数の維持が難しくなる状況となり、今後、事業継続のために新たな加算などの枠組み自体の課題検討の必要があると考える。

(2) 診療支援部門

①リハビリテーション課

ア. 療法実績

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
外来	理学療法	515	506	578	536	550	574	559	554	558	542	465	578	6,515	7,050	92.4%
	作業療法	301	250	313	306	303	293	311	275	324	305	293	364	3,638	3,702	98.3%
	言語聴覚療法	309	293	318	320	339	308	303	312	318	303	293	353	3,769	3,728	101.1%
	臨床心理	68	55	69	75	95	93	76	64	80	74	77	104	930	1,196	77.8%
	音楽療法	4	7	7	7	4	4	7	6	7	6	5	7	71	70	101.4%
入所	理学療法	75	96	160	184	157	181	187	172	166	166	153	150	1,847	1,567	117.9%
	作業療法	26	20	37	37	13	28	19	28	22	22	33	22	307	460	66.7%
	言語聴覚療法	43	40	49	39	25	49	39	37	33	56	36	34	480	920	52.2%
	臨床心理	0	6	18	12	7	23	18	25	30	24	15	15	193	76	253.9%
	音楽療法	11	11	11	10	11	10	12	11	10	12	4	10	123	122	100.8%
合計	理学療法	590	602	738	720	707	755	746	726	724	708	618	728	8,362	8,617	97.0%
	作業療法	327	270	350	343	316	321	330	303	346	327	326	386	3,945	4,162	94.8%
	言語聴覚療法	352	333	367	359	364	357	342	349	351	359	329	387	4,249	4,648	91.4%
	臨床心理	68	61	87	87	102	116		89	110	98	92	119	1,029	1,272	80.9%
	音楽療法	15	18	18	17	15	14	19	17	17	18	9	17	194	192	101.0%
	総合計	1,363	1,295	1,571	1,536	1,515	1,573	1,437	1,484	1,548	1,510	1,374	1,637	17,843	18,502	96.4%
	1日平均件数	68.2	68.1	71.4	76.8	68.8	77.7	70.9	73.4	76.6	78.5	71.8	73.6	72.9	76.2	95.6%

イ. 外来新規患者数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
理学療法	8	6	9	4	5	4	5	4	6	3	2	2	58	61	95.1%
作業療法	11	14	9	3	7	5	11	8	12	0	2	3	85	60	141.7%
言語聴覚療法	8	8	8	4	6	3	5	7	7	4	6	3	69	65	106.2%
臨床心理	9	7	10	10	8	6	8	8	9	11	4	5	95	79	120.3%
音楽療法	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4	5	80.0%
合計	37	35	37	21	26	18	30	27	35	18	14	13	311	270	115.2%

今年度の人員配置では、4名（心理2名、PT1名、OT1名）の育休取得者がいた。新型コロナウイルス感染症の感染が夏から冬に増え、その時期にはスタッフ陽性、濃厚接触者になり休みを取ることが多かったこと、また外来患者のキャンセルも多くなった。それ以外にも職員の療休や1か月の短期育休取得者もいた。上記のような影響があり、リハの実施件数はどの療法も昨年度比が100%割る結果となったと考えられる。それ以外にはOTスタッフ1名週1回港南へ業務応援に出ていたこと、心理は産休取得者とあおばから異動したスタッフが3月に入れ替わり十分な引継ぎが出来ず業務縮小が余儀なくされたことと、7月から新入職員が入ったが、1月からはあおばへ週1回の応援を出した事の影響があると考えられる。

音楽療法は感染対策に努めながら音楽活動を継続した。2月は棟内で新型コロナウイルス感染症の発症あり、1日休みとなった。

4年目となり活動を通して対象者の感情表出や自己表現が促進され、長期入所者のグループ活動においては他利用者と積極的にかかわりあう時間を持つことができるようになった。外来では欠席枠を利用して体験希望者を募り9名の応募があり、4名5回の体験を行った。うち2名が希望されて継続することになった。

②薬剤課

ア 調剤院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
小児科	処方箋枚数	4	8	8	9	11	5	7	4	9	14	4	9	92	129	71.3%
	処方件数	11	11	8	11	18	5	16	9	17	24	4	14	148	183	80.9%
	調剤数	11	13	8	12	18	5	20	11	21	28	4	14	165	197	83.8%
耳鼻咽喉科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	32	3.1%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	39	2.6%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	65	1.5%
歯科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
救急外来	処方箋枚数	3	0	2	3	5	4	3	3	2	4	5	2	36	53	67.9%
	処方件数	7	0	2	4	8	4	3	5	3	6	9	2	53	85	62.4%
	調剤数	8	0	2	6	8	4	3	7	3	7	9	2	59	123	48.0%
整形外科	処方箋枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	処方件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	調剤数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
皮膚科	処方箋枚数	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	4	125.0%
	処方件数	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	6	100.0%
	調剤数	0	0	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	6	100.0%
通所	処方箋枚数	9	9	11	8	9	7	2	2	4	2	6	4	73	63	115.9%
	処方件数	11	9	11	9	9	8	2	2	6	2	9	5	83	67	123.9%
	調剤数	11	9	12	9	10	8	2	2	6	2	10	5	86	73	117.8%

入院・入所

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
A棟	処方箋枚数	322	217	275	269	234	356	224	288	278	282	216	276	3,237	3,052	106.1%
	処方件数	1,439	1,052	1,172	1,079	822	1,672	864	1,385	1,365	1,460	1,150	1,214	14,674	14,114	104.0%
	調剤数	1,954	1,436	1,599	1,442	1,088	2,216	1,134	1,821	1,779	1,903	1,474	1,560	19,406	18,723	103.6%
B棟	処方箋枚数	203	235	179	205	191	156	305	257	289	296	232	258	2,806	2,616	107.3%
	処方件数	400	1,127	765	998	680	511	1,538	1,093	1,406	1,183	1,031	1,029	11,761	11,639	101.0%
	調剤数	1,214	1,445	1,007	1,289	888	638	1,972	1,434	1,711	1,508	1,311	1,261	15,678	15,297	102.5%
C棟	処方箋枚数	403	377	369	408	374	383	437	427	426	465	339	406	4,814	4,237	113.6%
	処方件数	2,006	1,948	1,560	1,999	1,634	1,874	2,211	1,843	2,207	2,633	1,136	1,689	22,740	22,140	102.7%
	調剤数	2,537	2,461	1,940	2,550	1,993	2,331	2,738	2,286	2,736	3,273	1,374	2,089	28,308	28,251	100.2%

イ 注射院内処方

外来

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比	前年度比
外来	処方箋枚数	101	48	24	28	89	40	207	370	323	46	13	7	1,296	1,722	75.3%
	処方件数	101	48	24	28	89	40	207	370	323	46	13	7	1,296	1,722	75.3%
	調剤数	111	54	30	35	93	42	212	372	333	51	14	8	1,355	1,771	76.5%



入院

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比	前年度比
A棟	処方箋枚数	51	50	75	133	88	84	96	138	85	49	90	1	940	837	112.3%
	処方件数	76	78	101	227	168	161	156	217	131	59	125	2	1,501	1,230	122.0%
	調剤数	86	118	114	290	234	188	179	285	134	73	177	2	1,880	1,619	116.1%
B棟	処方箋枚数	17	91	31	69	180	97	8	106	44	105	59	88	895	289	309.7%
	処方件数	32	149	80	85	294	152	8	143	58	135	91	114	1,341	450	298.0%
	調剤数	46	221	115	131	404	171	9	195	76	175	122	146	1,811	600	301.8%
C棟	処方箋枚数	94	155	211	206	163	320	85	160	127	232	199	184	2,136	1,615	132.3%
	処方件数	130	256	351	412	272	561	150	237	181	355	325	334	3,564	2,537	140.5%
	調剤数	171	373	485	610	401	791	216	283	210	480	427	501	4,948	3,606	137.2%

外部のコロナワクチンの接種者が減少したことにより、外来の注射件数が大きく減少した。外来のインフルエンザワクチンの接種も昨年と比べ減少している。病棟でのコロナ発症により注射薬の使用は増加した。

入所者の高齢化に伴い、重症化が進み、内服薬の使用は増加している。また、悪性腫瘍の発生もみられ、疼痛管理に麻薬も使用された。

③検査課

ア 院内検査

外来・短期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	36	47	61	51	29	30	29	19	17	34	14	16	383	461	83.1%
血算	43	53	69	66	50	70	40	42	22	38	61	23	577	600	96.2%
血液像鏡検	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	25.0%
電解質	28	34	52	44	31	26	26	19	11	22	15	15	323	327	98.8%
迅速血糖 (課内のみ)	2	3	4	1	2	0	2	3	2	1	2	0	22	17	129.4%
血中薬物濃度	17	25	49	36	25	31	14	0	8	15	17	8	245	285	86.0%
血液ガス分析	4	10	24	15	7	4	9	1	3	0	4	4	85	105	81.0%
血液型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
交差適合試験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
尿定性	16	22	27	39	28	51	18	13	5	8	43	19	289	317	91.2%
尿沈渣	14	22	23	27	14	14	14	9	4	7	9	6	163	197	82.7%
迅速検査	12	22	16	35	4	6	7	4	10	21	8	7	152	159	95.6%
遺伝子検査	69	67	62	84	64	74	69	47	63	33	27	22	681	219	311.0%
肝炎ウイルス検査	0	6	1	3	8	6	1	0	0	3	0	6	34	20	170.0%
心電図	3	4	23	25	18	37	9	3	1	4	2	0	129	112	115.2%
脳波	1	3	3	2	7	1	7	4	2	2	3	2	37	65	56.9%
超音波検査 (乳房)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	245	318	414	429	287	350	245	164	148	188	205	128	3,121	2,888	108.1%

入院・長期入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
CRP	46	80	86	86	99	126	91	83	84	74	81	104	1,040	778	133.7%
血算	48	80	89	86	99	127	92	85	86	75	82	104	1,053	799	131.8%
血液像鏡検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.0%
電解質	16	33	50	37	53	77	50	58	55	47	65	0	541	457	118.4%
迅速血糖 (課内のみ)	0	4	4	1	7	3	3	5	2	3	3	8	43	30	143.3%
血中薬物濃度	7	5	22	10	16	37	29	0	20	0	15	12	173	202	85.6%
血液ガス分析	4	7	13	29	29	39	30	24	26	0	40	36	277	191	145.0%
血液型	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3	0	
交差適合試験	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	
尿定性	8	8	9	11	16	27	26	29	22	2	6	11	175	165	106.1%
尿沈渣	8	5	9	11	15	26	26	29	22	2	6	11	170	162	104.9%
迅速検査	15	9	12	23	24	8	5	29	12	27	23	23	210	128	164.1%
遺伝子検査	15	10	7	13	11	12	10	21	33	5	27	18	182	52	350.0%
肝炎ウイルス検査	3	9	3	0	6	3	18	15	15	0	0	3	75	18	416.7%
心電図	1	0	1	0	1	29	20	21	15	2	1	3	94	101	93.1%
脳波	0	2	1	0	0	0	1	2	2	2	0	0	10	10	100.0%
超音波検査 (乳房)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
合計	171	252	306	309	376	516	401	401	394	239	351	333	4,049	3,098	130.7%

イ 外注検査

外来

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	68	125	130	149	109	97	78	53	82	56	97	48	1,092	996	109.6%
細菌培養	23	32	49	41	25	20	24	16	19	3	14	18	284	256	110.9%
病理・細胞診	病1	0	0	0	0	0	0	0	0	細1	0	0	病1 細1	0	
合計	91	157	179	190	134	117	102	69	101	60	111	66	1,377	1,252	110.0%

入院・入所

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
生化学・免疫他	26	86	73	92	131	129	136	148	136	63	109	116	1,245	866	143.8%
細菌培養	17	17	18	27	31	68	53	51	36	12	8	15	353	274	128.8%
病理・細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	病1	0	1	2	50.0%
合計	43	103	91	119	162	197	189	199	172	75	118	131	1,599	1,142	140.0%

前年と比較し、総合的に外来・入所ともに検査件数が増加している。特に、新型コロナウイルス感染症の流行による遺伝子検査、検診や針刺し及び嘔みつき事故による肝炎ウイルス検査の増加が目立った。8月より血算・CRP同時測定機を導入し、運用を開始した。院内血中薬物濃度測定は、機器の動作不良や試薬の欠品で、外注検査に委託する事が増えた。脳波検査は50件を下回り、大きな減少幅がみられた。長期利用者の体調不良が増え、輸血検査や骨髄穿刺検査といった特殊検査を実施することもあった。



エ 栄養サポートチーム（NST）実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新介入	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	3	1	300.0%
介入中	0	0	0	0	1	2	3	2	2	2	2	1	15	9	166.7%
回診数	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	5	10	50.0%
介入終了	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	50.0%

オ 通所食数の実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
経口食	81	70	83	91	93	82	80	86	66	66	74	82	954	825	115.6%
胃瘻食	143	136	162	122	116	108	109	102	98	108	111	132	1,447	1,854	78.0%
合計	224	206	245	213	209	190	189	188	164	174	185	214	2,401	2,679	89.6%

カ 放課後等デイサービス食数実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
昼食(経口食)	20	0	3	12	58	0	0	0	22	13	0	32	160	143	111.9%
昼食(胃瘻食)	11	0	2	8	30	0	2	0	6	8	0	18	85	120	70.8%
間食	71	69	75	65	43	74	68	79	63	64	72	79	822	735	111.8%

キ 訪問栄養指導の実績

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
巡回相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%
健康相談個別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0%

給食数は前年度より下回っており、特に11月から2月までの減少は、短期入所者の減少によるものであると考えられる。

放課後等デイサービスの給食数（経口食+胃ろう食）は、前年度に比して、-6.8%の減少にあるが2019年より、245～260食/年を推移しており安定している。

(3) 居住支援部門

①長期入所利用状況

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期入所	A棟(25名)	750	775	727	765	758	739	775	789	887	899	812	899	9,575	9,125	104.9%
	B棟(26名)	780	806	780	806	806	780	827	873	930	928	840	914	10,070	9,490	106.1%
	C棟(36名)	1,079	1,104	1,080	1,116	1,116	1,069	1,116	1,080	1,083	1,070	952	1,076	12,941	13,038	99.3%
	合計(87名)	2,609	2,685	2,587	2,687	2,680	2,588	2,718	2,742	2,900	2,897	2,604	2,889	32,586	31,653	102.9%
	占床率(%)	100.0%	99.6%	99.1%	99.6%	99.4%	99.2%	100.8%	105.1%	98.5%	98.4%	97.9%	98.1%	99.6%	99.7%	99.9%

※2022年12月～長期入所95床（A棟29名、B棟30名、C棟36名）

2022年4月からまん延防止等重点措置が解除され、長期入所者の家族との面会も衝立越しとなり、6月からは約3年ぶりに居室での面会を再開した。しかし、家族の方々も高齢化しており、面会ができない方も増えたことで、リモート面会を積極的に実施をした。また、日々の生活を家族へ伝える方法として、2年前から利用者の生活写真をコメント付きで毎月郵送することで、家族からも大変に喜ばれている。

4回目のコロナワクチンの接種を実施し、10月にはインフルエンザ予防接種も実施した。10月から12月にかけて87床から95床に増床し、新たに長期入所者を8名受け入れた。

1月に長期入所者が1名逝去され、3月に新たに長期入所者1名を受け入れた。

活動については、制限を徐々に解除し、多目的ホールを利用して棟ごとによる季節行事を実施した。また、ほのぼの祭は、各棟時間をずらして開催し、3年ぶりに家族も参加して楽しいひとときとなった。

## ②日中活動

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
実施回数(回)	35	32	42	32	43	37	33	42	44	44	41	52	477	628	76.0%
参加人数(人)	102	123	175	135	187	169	148	205	204	211	185	244	2,088	2,771	75.4%

10月までは棟毎に一週間続けて活動し、11月からは活動室において、各棟のスケジュールに基づいて1日3コマ、活動を再開した。活動回数も一人あたり月2回を確保した。

スタッフ数が1人減少したが、効率的な活動を工夫し、活動内容の充実を図った。ボランティアについては、感染対策を徹底したうえで受け入れを再開し、ピアノ演奏会を2回実施した。また、たちほどがやとZoomでの交流を再開した。

短期入所に関しては、10月よりセンターの体制変更により、C棟での受け入れとした。そのため、時間を確保して活動回数を増やした。日中活動支援加算対象者の活動も実施した。



## (4) 在宅支援部門

### ①短期入所利用状況

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
短期入所 (延数)	A棟(5名)	155	132	166	157	114	140	158	44	31	38	28	34	1,197	1,820	65.8%
	B棟(4名)	70	116	115	100	74	137	58	3	3	0	0	0	676	1,363	49.6%
	C棟(6名)	131	127	135	174	117	140	212	215	142	151	129	99	1,772	1,937	91.5%
	合計(15名)	356	375	416	431	305	417	428	262	176	189	157	133	3,645	5,120	71.2%
占床率(%)		79.1%	80.6%	92.4%	92.7%	65.6%	92.7%	92.0%	58.2%	63.1%	67.7%	62.3%	47.7%	74.5%	93.5%	79.7%
申し込み(件数)		81	86	75	92	96	86	93	88	79	73	55	73	977	1,134	86.2%
利用不可(件数)※		9	7	0	9	6	4	2	20	12	2	29	45	145	206	70.4%

※1 2022年12月～短期入所9床に定数見直し

※2 満床等の理由により入所対応ができなかった件数

短期入所枠の定数改変について、前年度より検討を進め10月より15床から9床に縮減するとともに、入院ベットも3床から1床とした。短期入所の受け入れ棟はC棟のみとし、A・B棟は緊急時だけ短期入所を受け入れることにした。A棟は11月から短期入所を終了したが、緊急受け入れが続いた。B棟は10月中旬まで短期入所を受け入れた。C棟では、短期入所枠を6床から8床へ増床し、職員定数を増員したが、看護師と支援員の休業者や退職者が増加したため8床の受け入れが難しくなり、3床から4床の受け入れに留まった。法人内の短期入所枠については、センター港南が同時期に8床から16床に増床したことで横療と合わせての短期入所枠は1床増床となったが、センター港南の稼働数が13床程度にとどまったこと、利用者側に施設の使い分けに混乱が生じたことなどから、横療の断り件数が増えてしまった。

## ②入院利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年上期合計	前年上期比
C棟(3名)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
占床率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.0%	0.0%	0.0%

新型コロナウイルス感染症流行に伴い、感染の疑いのない方のみを受け入れとした。空床は必要時緊急入所用として利用している。

## ③生活介護(通所)

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
在籍者数	42	42	42	42	40	40	40	39	37	37	37	37	40	44	89.8%
通所日数	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243	242	100.4%
通所者数	314	286	369	312	298	279	288	268	253	268	268	320	3,523	4,009	87.9%
電話支援	48	32	32	32	51	40	33	35	35	27	27	21	413	560	73.8%
欠席者数	116	120	104	106	152	130	120	138	125	92	90	83	1,376	1,500	91.7%
1日平均通所者	18.1	16.7	18.2	17.2	15.9	16.0	16.1	15.2	14.4	15.5	15.5	15.5	16.2	17.7	91.3%

7月にセンター港南に2名、当センターへ11月に1名、12月に2名、3月に1名、計6名が長期入所へ移行した。たちほどがやに入所され、週2回当センター通所に通われていた方が3月末をもって退籍となった。昨年度、意向調査を行ない4月より増回数とした方は6名となっている。年度途中でも、在籍者へ増回数希望を取ったが、併用施設もあるため、増回数となった方は1名だった。次年度を見越し、高等部3年生の実習は、7名を受け入れた。また、コロナウイルス感染症に係る休みが多くあった。利用者へは、朝夕の2回の電話で健康状態や相談・要望等を聞くことにより在宅支援を行った。通所利用者も年齢を重ね、重症度が上がっている。家族負担軽減のための短期入所、本人の体調不良による入院も中長期化している。目標値を18名/日としていたが、電話による在宅支援を含めて16.2名/日となり、目標達成には至らなかった。また、通所利用希望者は医療度が高い方が多いが、通所用のベッドは16台となっており、今後の受け入れについての検討が必要である。

活動についても制約がある中、チームによる活動などを工夫し、イベントは1週間実施し、全員参加できるようにした。3月には、納め会週間とし、書道パフォーマンスを1週間

行なうことで、1枚の紙に全員の今年の一言が書かれ、みんなで1つのものを完成させる活動ができた。巾着バッグに布用絵具を使用し、スタンプを押したりし、ネーム入りのオリジナルバッグを作製し、今年度の記念品とした。3年間見送っていた地域交流を感染対策を実施し、縮小した形で藤塚小学校、二俣川教会と再開した。

生活介護事業は、家庭、併用施設など、利用者1人ひとりの生活に直結しており、感染のリスクを大きく受けるが、今年度も閉所することなく運営できたのは、利用者・家族の協力、当センターの感染対策、そして、職員1人ひとりの感染対策、責任ある行動によるものと考えている。

利用実績と感染対応、利用者の重症化、新規等の利用者受け入れなど課題がある。課題解決に向け、取り組んでいく。



書道パフォーマンス 2022



テラス タープ落成式(園芸)



チーム活動 ぶどう狩り競争



二俣川教会交流

④訪問看護ステーションえーる

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数(件)	168	161	193	163	173	184	179	176	175	182	176	207	2,137	1,936	110.4%
電話支援(件)	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	6	83.3%
1日平均	8.7	8.5	8.8	8.2	7.9	9.2	9.0	8.8	8.8	9.6	9.3	9.4	8.8	8.0	110.0%
リハ同行数	13	7	13	9	9	6	7	8	9	10	7	11	109	172	63.4%

今年度の訪問目標を165件/月としたが、平均178件/月の実績となり、目標達成することができた。コロナ禍において様々な在宅支援サービスが縮小する中で、臨時訪問の依頼が前年度同様に多かった。新規契約件数については、年間1~2件を数値目標としたが、9人の新規契約を結ぶことができた。(うち5人は契約終了となる。長期施設移行3人、他訪看1人、軽快1人) 現在、えーる登録利用者数は45件。介護事業所に対する喀痰吸引の実技指



導についての依頼が 2021 年度 利用者 3 名 受講者 3 名に対し、2022 年度は、利用者 5 名 受講者 21 名と増加した。

訪問リハビリについては、往復の時間を含めてセラピストの拘束時間が長時間になるため、利用者の生活背景をアセスメントすることによって外来でのリハビリの併用活用を提案したため、前年度より訪問件数は減少した。

⑤居宅介護課（まいはーと）

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
訪問総数	482	449	599	483	490	504	513	533	447	468	478	483	5,929	7,523	78.8%
1日平均	24.1	23.6	27.2	24.2	22.3	25.2	25.7	26.7	22.4	24.6	25.2	22.0	24.4	31.1	78.5%

2021 年度 3 月に複数の登録ヘルパーが退職したため、訪問総数は前年度比 78%であったが、訪問先が減少したわけではないため、ヘルパー 1 人あたりの訪問件数は、2、3 割程度増加した。

⑥放課後等デイサービスはみんぐ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	89	83	97	84	90	91	84	83	79	81	79	91	1,031	1,026	100%
電話支援	7	12	11	16	18	7	16	17	21	14	16	15	170	165	103%
1日平均	4.8	5.0	4.9	5.0	4.9	4.9	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.8	4.9	4.9	100%

通所児が新型コロナウイルス陽性者になることはなかったが、家族や学校、併用施設で陽性者が出た影響で休む例が多かった。

電話支援により、1 日の平均出席数は 4.9 を維持した。成長期にあつて活発な児童が多いが、大きな事故等は無く安全な運営ができた。

⑦送迎事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
登校 (累計)	15	17	21	15	3	20	19	15	16	15	19	17	192	202	95%
下校 (累計)	15	18	21	15	3	18	16	13	16	15	17	17	184	199	92%
登校 日数	16	19	21	15	3	20	20	20	16	15	19	17	201	204	99%

⑧医療福祉相談室

相談業務

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話（メール）	496	466	544	476	449	480	469	483	410	336	356	361	5,326	3,574	149.0%
来所	75	73	101	76	77	83	72	80	85	79	94	102	997	562	177.4%
訪問等	101	77	88	90	61	67	85	81	91	128	120	90	1,079	254	424.8%
合計	672	616	733	642	587	630	626	644	586	543	570	553	7,402	4,390	168.6%

相談件数の総数は、新型コロナウイルス感染症の流行に関わらず 600 件/月前後の数で推移した。新規相談では外来リハビリ関係の初診相談が多く、種別は重心・身体が 2 割を切り、





インシデント件数は、最小であった昨年度より約 200 件（40%）増加しており、特にレベル 2 及びレベル 3a の増加が目立った。外傷が 140 件と昨年度の 61 件の 2 倍以上に増加し、レベル 2 が 99 件、レベル 3a が 21 件であった。特に C 棟で 71 件（約 50%）が発生しており、原因不明の皮下出血が大半であった。皮下出血としては重症な事象も数件含まれていたため、毎日の皮膚観察を徹底し、早期発見・原因検索に努めた。後期は発生数が減少した。個人情報漏洩においては、個人ファイルの置き忘れや誤送付など、個人漏洩未遂を含め 17 件と多く、今年度の特徴的な事象であり、再発防止に努めている。

年間のインシデント・アクシデントレベル指数  $\left( \left( \text{レベル}0 \text{の報告数} \times 0 \right) + \left( \text{レベル}1 \times 1 \right) + \left( \text{レベル}2 \times 2 \right) + \left( \text{レベル}3 \times 3 \right) \right) / \left( \text{インシデント・アクシデント報告数} \right) \times 100$  は 1.48 と、昨年の 1.36 に比べ増加し、より軽微なインシデントの報告数が相対的に減少していることを示している。現場の人員不足のため、ヒヤリハット報告が減少した可能性がある。利用者に影響のなかった事例や未然に防ぐことができた事例を積極的に報告してもらうことで、その原因を調査し防止策を講じ、より重大な事故を防ぐことができると考えている。そのためインシデントレポートの意義を再確認し、よりよい報告システムの構築を目指す。

安全対策部会では、日常に潜む危険個所マップの作成や災害時の避難通路の確保について取り組んだ。

センター内の防犯カメラの設置を進めているが、各棟にもカメラを設置することとし、今年度は C 棟に設置した。

## ②感染予防対策

新型コロナウイルスワクチン接種件数

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
接種件数	281	36	24	185	314	59	13	348	238	70	24	2	1,594	4,418	36.1%

利用者と利用者家族、職員と職員家族、横浜市民の新型コロナワクチン 4 回目・5 回目を接種した。

長期利用者の中で A 棟 2 名、B 棟 3 名、C 棟 3 名が発症したが、重症化することはなかった。職員の陽性者は 70 名であったが、主な感染源は同居家族からであり、院内での感染は 1 名のみであった。3 年間積み重ね構築してきた感染防止対策が迅速かつ、確実に実践できた成果と思われる。

新型コロナ感染症は、2023 年 5 月より 5 類に移行するが、新型コロナウイルスは、進化を続け私たちに影響を及ぼすものと予測できる。社会一般の規制緩和の中、今後の流行に備え、感染防止対策を見直しながら、取組みを継続していく。

多剤耐性菌に対する研修を行い、多剤耐性菌に対する感染予防策の見直しを行った。

## (6) 管理部門

### ①管理課

職員採用状況（非常勤含む）

職種	医師	歯科医師	看護師	生活支援員	管理栄養士	薬剤師	理学療法士	作業療法士	臨床心理士	福祉相談員	保育士	事務員	看護助手	運転員	登録ヘルパー	事務クレーク	薬剤師	洗濯員	調理員
採用者	12	2	19	10	1	2	2	0	1	0	0	1	2	3	5	0	1	1	0
退職者	12	0	17	14	1	2	0	1	0	1	1	2	3	4	1	1	1	1	1

各職種で欠員状態が続くとともに、その人材確保は非常に困難であった。

## ②事業継続計画（BCP）の取組状況

2022年4月より、大地震を念頭に置いたBCP委員会が発足し、横浜療育医療センター 事業継続計画（BCP）第1版の見直しを実施。発災直後の行動を各部署で検討し、時系列表・行動計画表を作成した。

2022年9月2日午前中に、横浜療育医療センター初めてのBCP全体訓練を実施した。発災直後の安全確保・安否確認や建物 設備被害状況の情報収集・各部署でのトラブル対応・災害対策本部の立上げ（発災から1時間程度）までの訓練を行った。訓練を実施したことによって多くの課題が見つかった。特に、消灯時の想定以上の暗さ・伝達方法及び情報収集・災害物品の不足が挙げられた。課題抽出後、BCP委員会で振返りをおこない、明るさを確保する為の災害物品（ランタンやヘッドライト等）の購入や伝達方法 情報収集の変更・災害発生時直後のアクションカードの作成・安否確認システムの検討を進めた。

2022年11月には、2022年度 第49回日本重症心身障害福祉協会 東日本施設協議会で、甲斐センター長が「災害時の事業継続計画（BCP）の作成と運用」について講演し、当センターの事業継続計画の概要・訓練実施内容・訓練後の課題について報告した。

元禄型関東地震、南海トラフ巨大地震など巨大地震の発生が想定される中、横浜療育医療センターでは事業継続計画（BCP）が機能する様、マニュアルの更新及びBCP訓練を継続し、取り組んでいく。

(BCP 訓練① 情報収集)



(BCP 訓練② 災害対策本部)



(BCP 訓練③ 通所)



(BCP 訓練④ 病棟)



## ③保育室ひかり

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	239	238	290	230	227	303	263	217	286	265	278	300	3,136	3,246	96.6%
1日平均	9.6	10.3	11.2	9.2	9.1	12.6	10.5	9.0	11.9	11.5	12.1	12.0	10.8	11.1	96.9%
一時保育利用児総数	0	0	0	0	3	0	2	5	6	4	2	3	25	8	312.5%

11月に園児3名・職員5名の新型コロナウイルス感染者が発生し、クラスターが発生した。横浜市の指示に従い、感染対策を徹底しながら運営を継続し、その後は、1名も感染者を出すことなく、運営を行った。

## ④病児保育室あさひ

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通園児総数	32	49	44	50	61	45	40	39	40	47	43	54	544	533	102.1%
1日平均	1.6	2.6	2.0	2.5	2.8	2.3	2.0	2.0	2.0	2.5	2.3	2.5	2.24	2.2	101.6%

7月～9月に新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で、利用の制限を継続した。(定員数は3世帯。利用時には抗原検査を行ってくる。医師連絡票の記入はかかりつけ医で行う。など) 7月～9月は新型コロナウイルス感染症の流行で申込者数は減少したが、同時に手足口病やRSウイルス感染症も流行したため、利用件数は昨年とほぼ同様であった。

11月に職員が新型コロナウイルス陽性となり、自宅療養となった。職員不足により受け入れ人数を減らして対応したため利用者数が減少した。

1月～3月はインフルエンザA型が流行したため、利用者数が増加した。

季節性の風邪の流行の影響を受け、月々で利用人数の増減の波はあるが、利用人数は若干増加している。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行するが、横浜市からの通知により9月末までは、現状通りの対応を継続していく。

## IV 地域療育センターあおば

新型コロナウイルス感染症は、1年間を通じて職員及び利用児32名が罹患し、クラス単位での休園や利用自粛など縮小を余儀なくされた期間があった。児童発達支援（通園）等の出席実績は、昨年度より微増しているが、目標値としたコロナ禍以前の水準まで戻っていない。

また、7月に常勤医師が着任し、診療体制の充実に努めたが、感染拡大によるキャンセルや利用自粛などによって、外来診療実績は目標値に対して70.2%と大きく下回ることとなった。

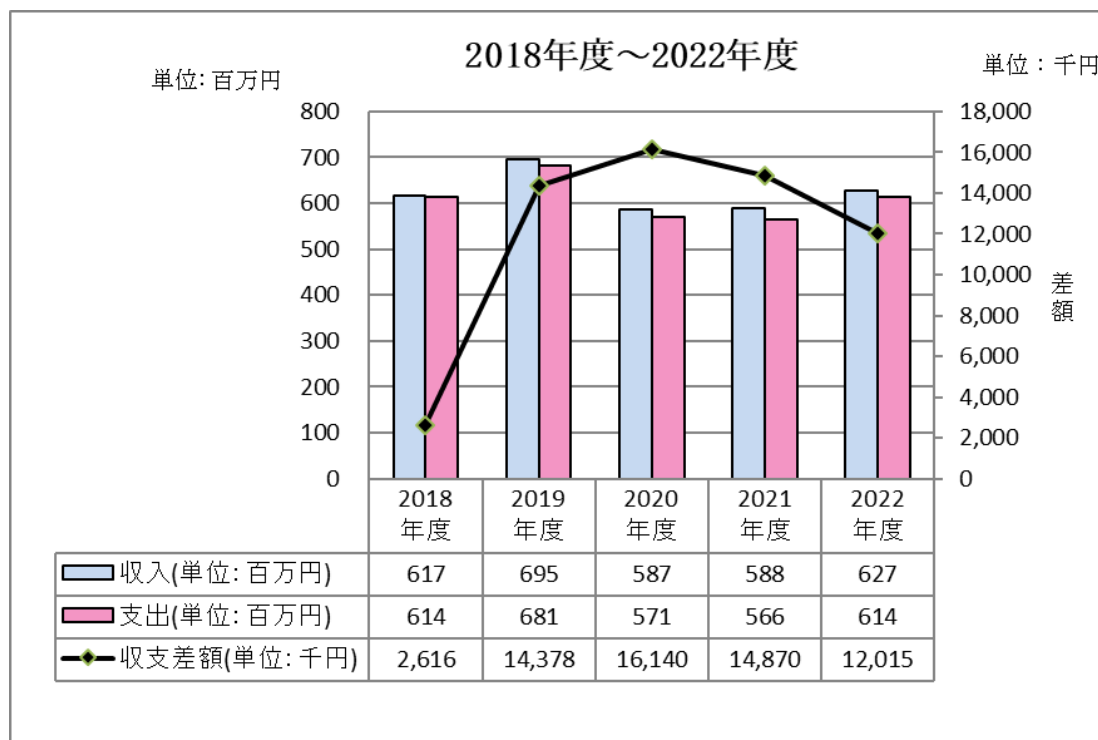
このような運営状況のもとで、横浜市における地域療育センターの新たな取り組みとして、事前相談から診療までの長期化している待機期間の不安等の解消を目的として「一次支援事業」を開始した。後期の利用数は月間30～40名を超え、予定枠数を超えるニーズもあり、今後さらに利用件数の増加が見込まれる。

各部署の実績は以下のとおりである。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
外来診療	52名／日	36.5名／日	70.2%
福祉型児童発達支援	45名／日	36.0名／日	80.0%
医療型児童発達支援	18名／日	10.8名／日	60.0%
児童発達支援事業	11名／日	8.1名／日	73.4%
障害児相談支援事業	250名	274名	109.6%
保育所等訪問支援	60名	64名	106.7%

## 2 資金収支差額の推移



2022年度は、児童発達支援の出席数の増加などにより収入は増加したが、光熱水費の上昇や物価高騰の影響により支出も増加した。また、ボイラーや厨房機器等の老朽化した備品の取り替えも行いながら、複数年にわたって収益を維持している。

## 3 各部署の報告

### (1) 診療課

#### ① 医師診察

診療所は、0歳から小学校期までの療育に関する相談・診療・指導等を行う役割を持っており、未就学児に対する診察の割合は62.7%、小学校期については37.3%となっている。

区分	新規診療	再診	計
未就学	313	1,133	1,446
学 齡	118	744	862
合 計	431	1,877	2,308

療育センター全体として相談の開始年齢が早まる傾向にあり、それに伴い、未就学児の新規診療割合は増加した。また、7月に常勤医師が着任したことにより、前期と比較し、後期にかけて診療件数が増加する傾向となった結果、全体的な診療件数も増加した。

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比		
新規診療	発達精神科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小児神経科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	児童精神科	未就学	10	9	9	6	8	1	3	2	4	5	5	6	6	68	36	188.9%	
		学齢	8	7	20	12	5	8	14	9	6	13	7	8	8	117	84	139.3%	
	小児科	未就学	12	10	20	16	28	23	21	20	11	13	16	14	204	176	115.9%		
		学齢	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	100.0%		
	耳鼻科	未就学	4	2	5	3	2	4	4	3	2	4	4	4	41	46	89.1%		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	摂食外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
補装具外来	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	未就学	26	21	34	25	38	28	28	25	17	22	25	24	313	258	121.3%			
	学齢	8	7	20	12	5	9	14	9	6	13	7	8	118	85	138.8%			
	計	34	28	54	37	43	37	42	34	23	35	32	32	431	343	125.7%			
再診療	発達精神科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小児神経科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	リハビリ科	未就学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		学齢	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	4	1	400.0%		
	児童精神科	未就学	5	11	10	18	16	19	20	18	21	21	20	26	205	121	169.4%		
		学齢	39	37	40	34	20	39	46	49	41	33	58	57	493	498	99.0%		
	小児科	未就学	43	49	52	44	63	53	72	84	77	67	75	76	755	813	92.9%		
		学齢	7	4	5	12	21	8	8	5	5	7	6	93	82	113.4%			
	耳鼻科	未就学	3	3	6	7	2	5	10	3	5	1	7	4	56	93	60.2%		
		学齢	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
	摂食外来	未就学	3	0	3	0	2	0	4	0	4	0	2	0	18	19	94.7%		
		学齢	1	0	2	0	2	0	1	0	0	0	2	0	8	5	160.0%		
補装具外来	未就学	6	12	9	4	7	2	7	10	8	10	14	10	99	108	91.7%			
	学齢	12	16	10	14	11	6	9	8	9	17	18	15	145	174	83.3%			
小計	未就学	60	75	80	73	90	79	113	115	115	99	118	116	1,133	1154	98.2%			
	学齢	60	57	58	61	54	53	64	62	56	55	85	79	744	760	97.9%			
	計	120	132	138	134	144	132	177	177	171	154	203	195	1,877	1,914	98.1%			
総計			154	160	192	171	187	169	219	211	194	189	235	227	2,308	2,257	102.3%		

## ②訓練等

理学療法は新型コロナウイルス感染症関連のキャンセルが増加し、職員の異動等も影響して前年度から1～2割程度訓練数が減少したが、その他の訓練及び指導は年間通して比較的安定して業務を遂行した。心理部門は産休等によって一時期、職員2名体制となったが、法人内の応援職員配置により、前年比増を達成した。

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
機能訓練	理学療法	未就学	58	71	81	68	71	79	81	83	70	74	83	74	893	964	92.6%
		学齢	56	62	53	63	55	49	65	57	53	47	45	71	676	851	79.4%
	作業療法	未就学	105	121	132	119	125	136	127	141	120	152	131	142	1,551	1,486	104.4%
		学齢	38	35	45	29	58	39	32	28	29	28	34	42	437	294	148.6%
	言語療法	未就学	75	69	98	83	71	101	90	96	87	71	82	83	1,006	966	104.1%
		学齢	16	13	14	11	13	7	9	8	7	11	8	10	127	83	153.0%
	聴力検査	未就学	17	19	24	16	10	18	15	21	21	14	17	15	207	191	108.4%
		学齢	2	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	7	5	140.0%
	合計	未就学	255	280	335	286	277	334	313	341	298	311	313	314	3,657	3,607	101.4%
		学齢	112	110	112	104	128	95	108	93	89	86	87	123	1,247	1,233	101.1%
計		367	390	447	390	405	429	421	434	387	397	400	437	4,904	4,840	101.3%	
心理指導	心理療法	未就学	75	100	119	103	113	134	121	112	135	171	152	164	1,499	1,456	103.0%
		学齢	35	20	21	16	18	30	33	25	25	33	33	36	325	244	133.2%
	(うち心理検査)	未就学	28	35	31	33	43	44	35	41	36	43	45	32	446	431	103.5%
		学齢	12	9	10	7	11	16	20	9	13	22	10	16	155	128	121.1%
栄養相談		未就学	3	0	1	1	1	5	0	2	3	1	1	0	18	27	66.7%
		学齢	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	5	0	
補装具クリニック			18	28	19	18	18	8	26	26	13	25	42	24	265	282	94.0%

### ③外来グループ

新型コロナウイルス感染症に対する感染防止策が3年目に入らる中で、利用児・保護者側の対処やおぼの対応が徐々に安定してきている。

外来グループ「たんぼぼ(発達障害児系)」の利用児童数は、この2～3年間で増加傾向にある。外来グループ「いちご(肢体不自由児系)」は、前年度の17名に対して、2022年度は44名と著しく増加している。

〔たんぼぼの通園児童数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	12	33	55	1	18	59	26	0	4	62	36	6	312	291	107.2%

〔肢体不自由児を対象としたいちごグループの通園児童数〕

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延人数	0	6	6	3	1	6	4	3	5	6	4	0	44	17	258.8%

### (2) 通園課

2022年度は週5日や週3日通所する高頻度クラスのニーズも多かったが、幼稚園や保育所等の施設に通いながら低頻度(週2～週1日)の療育を必要とされる児童数が多く、週1回のクラスを多く開設した。10部屋16クラス設定で、そのうち福祉型13クラスで87名、医療型3クラスで27名、合計114名が利用した。夏期には新型コロナウイルス感染症によるクラスの一部閉鎖もあったが、全休園することなく、3月まで継続した療育のサービス提供を行った。保護者勉強会に関しては来所だけでなく、オンラインを活用し、ハイブリッド開催とすることでより広く参加できる形を検討し実施した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	福祉型	565	817	953	906	544	909	862	850	772	727	862	606	9,373	8,695	107.8%
	医療型	192	298	328	313	180	318	280	299	268	256	304	213	3,249	3,274	99.2%
	計	757	1,115	1,281	1,219	724	1,227	1,142	1,149	1,040	983	1,166	819	12,622	11,969	105.5%
出席日数 (実績)	福祉型	483	669	754	580	459	680	715	714	636	628	648	541	7,507	7,024	106.9%
	医療型	152	213	237	189	118	214	174	222	173	196	211	159	2,258	2,405	93.9%
	計	635	882	991	769	577	894	889	936	809	824	859	700	9,765	9,429	103.6%
出席率	福祉型	85.5%	81.9%	79.1%	64.0%	84.4%	74.8%	82.9%	84.0%	82.4%	86.4%	75.2%	89.3%	80.8%	81.3%	99.4%
	医療型	79.2%	71.5%	72.3%	60.4%	65.6%	67.3%	62.1%	74.2%	64.6%	76.6%	69.4%	74.6%	69.8%	73.9%	94.5%
	計	82.3%	76.7%	75.7%	62.2%	75.0%	71.1%	72.5%	79.1%	73.5%	81.5%	72.3%	82.0%	75.3%	78.8%	95.6%
在籍児童数	福祉型	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87	87			
	医療型	28	28	28	27	27	27	27	27	27	27	27	27			

### (3) 相談課

#### ①相談業務

相談件数については、9月末にソーシャルワーカー1名が退職したことや、10月以降、ソーシャルワーカーによる集計方法を切り換えたが、新しい入力・集計の仕組みに習熟できなかったためか、件数が低下している。



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	243	347	283	366	343	319	135	137	117	131	107	118	2,646	3,592	73.7%
	学齢	140	108	124	131	110	63	62	39	40	31	38	39	925	1,263	73.2%
面接	未就学	8	26	19	103	78	79	44	51	31	44	51	46	580	1,082	53.6%
	学齢	8	9	12	21	24	25	2	14	7	6	16	15	159	293	54.3%
文書	未就学	153	28	9	25	15	10	7	4	1	0	0	0	252	515	48.9%
	学齢	32	40	29	12	2	5	1	0	0	2	0	1	124	44	281.8%
合計	未就学	404	401	311	494	436	408	186	192	149	175	158	164	3,478	5,189	67.0%
	学齢	180	157	165	164	136	93	65	53	47	39	54	55	1,208	1,600	75.5%

## ②関係機関調整

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
電話	未就学	189	292	224	191	142	151	68	78	53	52	50	74	1,564	2,171	72.0%
	学齢	119	91	101	99	52	64	15	11	10	5	7	15	589	1,345	43.8%
来所/ 出張	未就学	7	25	18	12	5	1	7	8	4	6	2	13	108	204	52.9%
	学齢	7	8	12	6	6	0	2	1	1	0	0	0	43	73	58.9%
文書	未就学	153	28	9	11	11	4	7	6	6	1	3	2	241	116	207.8%
	学齢	32	40	29	21	22	14	9	1	0	2	1	2	173	254	68.1%
合計	未就学	349	345	251	214	158	156	82	92	63	59	55	89	1,913	2,491	76.8%
	学齢	158	139	142	126	80	78	26	13	11	7	8	17	805	1,672	48.1%
	総計	507	484	393	340	238	234	108	105	74	66	63	106	2,718	4,163	65.3%

## ③巡回相談

コロナ禍ではあるが、感染防止対策やルール等を訪問先と丁寧に調整・共有しながら対応した。2022年度は幼稚園より保育園からの訪問依頼のニーズ(訪問件数)が多かった。毎年の依頼件数の動向に影響されるものの、幼稚園と保育園の訪問件数の合計は前年度の90件に対して2022年度は79件で、ほぼ例年並みの実施件数となっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育園	0	11	19	10	1	4	5	4	3	0	1	1	59	34	173.5%
幼稚園	0	5	5	4	0	3	3	0	0	0	0	0	20	56	35.7%
合計	0	16	24	14	1	7	8	4	3	0	1	1	79	90	87.8%

## ④障害児相談支援事業(利用計画書作成件数)

計画相談支援の対象児は、あおばの福祉サービス(通園、こだち、保育所等訪問支援)の利用児及び外来利用の希望児を原則としているため、年度毎のニーズによって多少の変動があり、合計数は、前年度の455件に対して、389件となっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
計画作成	223	6	8	6	5	7	7	5	5	2	0	0	274	321	85.4%
継続計画作成 (モニタリング)	7	17	10	30	6	2	0	3	6	1	21	12	115	134	85.8%
合計	230	23	18	36	11	9	7	8	11	3	21	12	389	455	85.5%

## ⑤保育所等訪問支援事業

あおばの専門職が対象児が通う保育所等を直接訪問し、集団生活を安心・安定して過ごすことができるよう支援したり、訪問先のスタッフに支援方法の提案や情報提供・共有

等を行う事業となっており、実施数は前年度の53件に対して、2022年度は64件と増加している。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
保育所等訪問支援事業	0	3	6	7	2	13	12	5	9	3	4	0	64	53	120.8%

#### ⑥学校支援事業

青葉区内の依頼を受けた小学校へあおばの専門職員(ソーシャルワーカー、心理士)が直接訪問し、コンサルテーション(児童が教室にいる状況での授業参観と振り返り等の情報共有・アドバイス)や教職員向けの研修会を実施した。

実支援学校数	33校
延べ訪問件数	38件
内コンサルテーション	31件
研修	7件

#### ⑦地域ニーズ対応事業

##### ア 保護者のためのこころのケア相談

こころのケア相談では、事業の委託をしている精神保健福祉士(大学教授)による、支援を要する保護者への直接支援と、ケース支援を行うソーシャルワーカーへのスーパーバイズ支援の2つの支援を実施している。2022年度は、ソーシャルワーカー面接に精神保健福祉士の立場での同席を受け、実際の面接場面でのスーパーバイズ支援も1件行われた。

面接	2件
電話	0件
導入検討	6件
事前カンファ	2件
事後カンファ	2件
ケース相談	8件
経過報告	11件
SW面接への同席	1件
その他(メール等)	7件

##### イ あおばであそぼ(ひろば事業)

あおばであそぼ(ひろば事業)は「子育て支援や療育センターそのものへの理解を深めていただくため、施設を開放し、遊び場を提供することで育児の不安や発達の心配感に寄り添うこと」を目的としている。参加者の3/4の方が、青葉区福祉保健センターにおける発達相談の際に本事業の案内や紹介を受けた方々となっている。全体の延べ参加数は、前年度は85件、2022年度は40件と減少しているが一次支援事業(次項)を2022年度から開始し、ニーズ別に利用児の分散化が図られたことが要因となっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延べ利用児数	4	6	3	6	7	3	4	5	0	3	4	3	48	85	56.5%

#### ⑧その他 独自事業

##### ア はろお！（一次支援事業）

ソーシャルワーカーとの事前面談（インテーク面談）後、初回診察や総合評価、集団療育サービスの提供等に繋がるまでの期間（初回診察後1年程度まで）の支援ニーズに対応して、センターあおばに来所して親子で遊びと相談ができる広場「はろお！」を2022年度から事業開始した。

年度当初は新型コロナウイルス感染症や梅雨の天候不順等の影響によって、参加児が集まらず中止となったこともあったが、事業が周知されるにつれてリピーターも出てきて、後期には月間30～40名を超える延べ利用児数となった。利用の予約枠数を超える申込があるため利用頻度を調整している状況で、今後も利用ニーズは増加していくと想定される。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
開催回数	5	10	5	7	9	9	14	13	11	15	18	13	129	新規事業	
延べ利用児数	12	22	11	15	18	21	36	33	28	35	46	40	317	新規事業	

##### イ みんなであそぼ（地域支援事業）

本事業は、保育士・ソーシャルワーカー・作業療法士等が地域ケアプラザ等地域へ出向いて遊びの場を共有しながら、成長・発達が気になる乳幼児の様子を伺い、保護者からの相談も受ける事業である。2022年度からすすき野ケアプラザで月1回、定期的実施している。（対象児についてはセンターあおばの利用の有無は問わない）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
延べ利用児数	3	4	0	5	6	3	5	7	3	5	4	2	47	新規事業	

#### （4）こども支援室こだち

##### ①児童発達支援事業所

例年どおり5月より療育を開始した。1クラス6名、8クラス運営で定員は48名であるが、編成会議の結果、51名の児童が利用することになった。そのため、8クラス中3クラスが7人在籍する運営となった。新型コロナウイルス感染防止対策を講じて療育を実施する中で、感染による欠席はあるものの、短縮療育やクラス閉鎖はなく3月まで継続して運営することができた。保護者支援に関しても、参集人数に制限を設けたが、保護者勉強会は来所していただき、対面でやりとりができる形式で実施ができた。

クラス名	登園日数/週	曜日	4歳	5歳	合計	前年度合計	前年度比
かえで①クラス	1日	月	0	6	6	6	100.0%
かえで②クラス	1日	火	0	7	7	6	116.7%
かえで③クラス	1日	水	0	6	6	6	100.0%
かえで④クラス	1日	木	0	7	7	6	116.7%
かえで⑤クラス	1日	火	6	0	6	6	100.0%
かえで⑥クラス	1日	水	7	0	7	6	116.7%
かえで⑦クラス	1日	木	6	0	6	6	100.0%
かえで⑧クラス	1日	金	0	6	6	6	100.0%
合計			19	32	51	48	106.3%

## ②児童発達支援事業所出席率

7月から10月頃までは新型コロナウイルス感染症の流行や家族の感染による登園停止を理由に欠席が多い状況にあった。また、幼稚園や保育園は徐々に感染防止対策が緩和され、行事が実施されることも多くなり、参加を理由に欠席する児童が増加した。1月からは新型コロナウイルス感染症よりもインフルエンザ罹患者が増え、出席率の低下につながった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
設定日数	48	173	230	153	134	172	102	204	121	153	185	32	1,707	1,748	97.7%
出席日数 (実績)	48	159	198	110	102	135	78	159	98	130	149	29	1,395	1,466	95.2%
出席率	100.0%	91.9%	86.1%	71.9%	76.1%	78.5%	76.5%	77.9%	81.0%	85.0%	80.5%	90.6%	81.7%	83.9%	97.4%
在席児数	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51			

## (5) 公開講座

センターあおばの保護者向けの集合研修であるあおば講座を12回、企画・実施した。

あおば講座Ⅰでは、新型コロナウイルス感染症の感染状況に対応し、講座参加の方法を当日の来所参加、Zoomでの参加、後日の動画配信(アーカイブ視聴)の3つから選択できるように工夫した。

あおば講座Ⅱは、保護者・家庭の生活状況等に合わせ、視聴のタイミングを自由に選べるアーカイブ視聴として実施した。

## あおば講座 I

	公開日	テーマ	講師	申込人数	参加人数
第1回	7月8日	発達障害を知らう ～発達障害ってなんだろう～	蜂谷百合子 医師	66	Zoom 29 来所 12 7-カイブ 25
第2回	9月16日	発達障害を知らう ～いろいろな症状について考える - メンタルやからだの不調～	蜂谷百合子 医師	51	Zoom 12 来所 9 7-カイブ 30
第3回	10月11日	就学に向けて① ～いまだきの小学校って?～	センターあおば 心理師チーム	23	Zoom 0 来所 9 7-カイブ 14
第4回	12月2日	特別支援学校・肢体不自由部門に通うお子さんのお母さんのお話	センターあおば 通園卒園児保護者	27	Zoom 16 来所 3 7-カイブ 8
第5回	1月16日	就学に向けて① ～先生方との連携・家庭で気を配りたいこと～	センターあおば 心理師チーム	37	Zoom 11 来所 3 7-カイブ 23
特別	2月14日	発音の不明瞭さが気になったとき ～その理由や対応における大切なこと～	センターあおば 言語聴覚士	25	Zoom 6 来所 5 7-カイブ 14

## あおば講座 II (公開日～年度末までの動画配信講座)

\*センターあおば利用の保護者が対象

	公開日	テーマ	講師	申込人数	視聴回数
第1回	6月1日	わかりやすさとは ～生活やあそびに活かせる療育のコツ～	センターあおば 通園園長	72	75
第2回	6月1日	感覚は脳の栄養素 生活を感覚の視点で見よう	センターあおば 作業療法士	72	94
第3回	9月1日	幼稚園・保育園の先生との連携について	センターあおば ソーシャルワーカー	72	38
第4回	9月1日	公立小学校の先生との連携について	センターあおば ソーシャルワーカー	72	41
第5回	11月1日	① 療育手帳ってどんなもの?② 受給者証って何に使うもの?	センターあおば ソーシャルワーカー	72	22
第6回	1月16日	わが子の「宿題」との付き合い方	センターあおば 心理師チーム	72	37

## (6) 管理課

常勤、非常勤含め積極的な採用活動を行った。年度内退職者への欠員補充に向け、様々な媒体を活用した。今後は事業拡大に係る増員や、産休・育休代替職員の人材の確保が課題となる。

職種	医師	看護師	臨床心理士	言語聴覚士	保育士	児童指導員	福祉相談員	事務員	理学療法士	作業療法士	合計
採用者	7	1	2	0	9	0	1	2	1	0	23
退職者	3	1	1	1	7	0	1	0	0	0	14

## V たっちほどがや

2022年度もまた、新型コロナウイルス感染症発生から3年が経過する中で、前年度同様に外出制限や他事業所への通所制限など様々な制約の中での生活を余儀なくされた1年となった。施設としては、引き続き施設内で可能な限りの支援を行ってきた。入所利用者の中には、体調管理や障害の重度化による健康管理支援が中心になる利用者も出てきている。医療的ケアができる職員を増やすことによって、安心して生活が継続できるようにしている。活動ができる利用者には、日中活動の職員が中心となり調理活動や創作活動、WEBを利用して旅行体験ができるようなものを採り入れたりしながら、日々の生活の中に潤いを持たせるようになってきた。

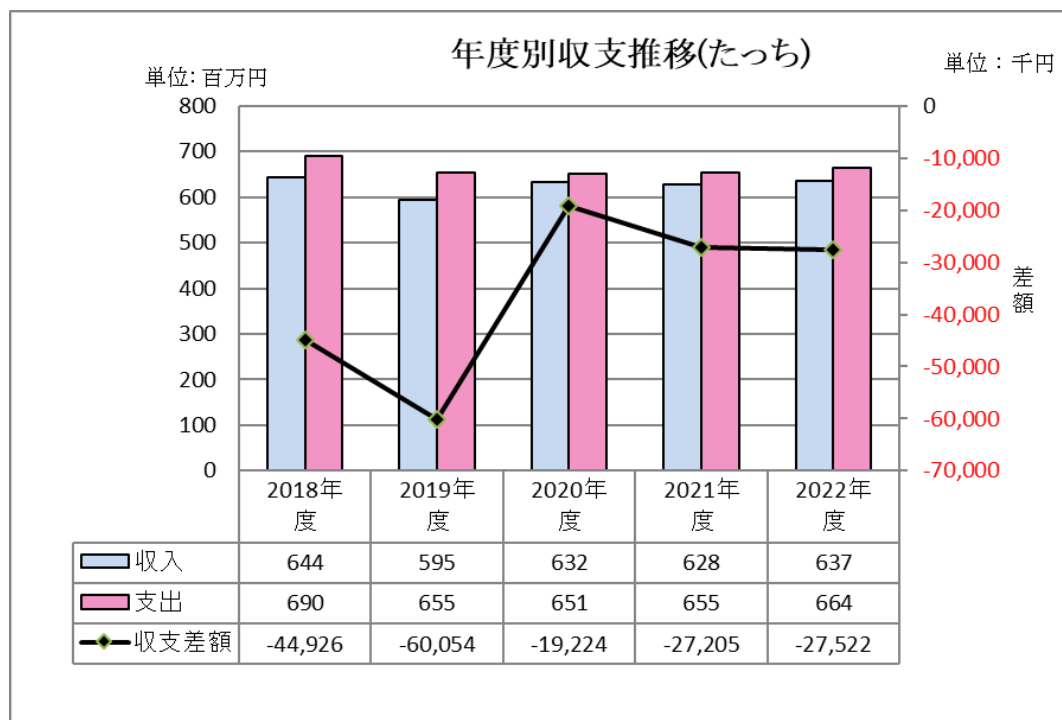
通所・在宅支援課では、通所人数や回数を増やしていく取り組みをしてきたが、後期になって利用率が徐々に上昇してきている。

いずみの課では、後期になってようやく職員が充足し始めたが、新入職員が習熟するまでには時間を要する状況にある。年度当初より欠員状況が続いた中で、既存の職員が超過勤務や勤務変更を行いながら日々の業務を遂行したことによって、何とか1年間の施設運営を達成したという状況となった。

### 1 「数値目標」に対する評価

事業名	目標値	実績	達成率
長期入所	41.2名/日	41.7名/日	101.2%
短期入所	7.8名/日	6.0名/日	76.9%
生活介護（通所）	23.5名/日	18.0名/日	76.6%
たっちいずみの生活介護（通所）	18.6名/日	16.4名/日	88.1%
たっちいずみの放課後等デイサービス	3.9名/日	3.4名/日	87.1%

## 2 資金収支差額の推移



【収入】補助金(コロナ関係、物価高騰、国交省他)があったため、前年度より増加。

【支出】人材紹介手数料が700万発生しているため、前年度より増加。(含みずみの180万)

## 3 施設全体の実績

### (1) 入所支援課

#### 入所支援・短期入所

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
長期入所 42枠	定数	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	504	504	100.0%
	実績数	1,260	1,302	1,250	1,289	1,295	1,230	1,285	1,245	1,302	1,287	1,176	1,301	15,222	15,284	99.6%
	1日平均	42.0	42.0	41.7	41.6	41.8	41.0	41.5	41.5	42.0	41.5	42.0	42.0	41.7	41.9	99.5%
	占床率	100.0%	100.0%	99.2%	99.0%	99.5%	97.6%	98.7%	98.8%	100.0%	98.8%	100.0%	99.9%	99.3%	99.7%	99.6%
短期入所 8枠	実績数	128	233	213	159	55	195	210	218	219	128	187	225	2,170	2,510	86.5%
	1日平均	4.3	7.5	7.1	5.1	1.8	6.5	6.8	7.3	7.1	4.1	6.7	7.3	6.0	7.0	85.1%
	占床率	53.3%	94.0%	88.8%	64.1%	22.2%	81.3%	84.7%	90.8%	88.3%	51.6%	83.5%	90.7%	74.4%	85.8%	86.8%
合計 50枠	実績数	1,388	1,535	1,463	1,448	1,350	1,425	1,495	1,463	1,521	1,415	1,363	1,526	17,392	17,794	97.7%
	1日平均	46.3	49.5	48.8	46.7	43.5	47.5	48.2	48.8	49.1	45.6	48.7	49.2	47.7	48.9	97.5%
	占床率	92.5%	99.0%	97.5%	93.4%	87.1%	95.0%	96.5%	97.5%	98.1%	91.3%	97.4%	98.5%	95.3%	97.5%	97.8%

### (2) 計画相談業務

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
新規契約件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	33.30%
計画更新件数	2(1)	5	4	3(2)	10(1)	5	2	4	5(1)	1	2	3	46(5)	44(4)	104.5%
モニタリング件数	5	6	9(1)	3	5	5	10(1)	11	8	6(2)	13	8	89(4)	83(8)	107.2%
合計	7	11	13	6	15	10	12	15	13	7	15	11	135(9)	130(12)	103.8%

( ) 内は児童

### (3) 通所・在宅支援課

#### ほどがや生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	382	358	422	387	390	376	355	369	356	370	380	438	4,583	4,793	95.6%
1日平均	19.1	18.8	19.2	18.4	17.0	17.1	16.9	16.8	16.2	18.5	19.0	19.0	18.0	19.2	93.8%

### (4) たっちいずみの課

#### ①「和音」(生活介護)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所者総数	355	322	391	335	327	343	343	290	314	303	311	371	4005	3,982	100.4%
1日平均	17.7	16.9	17.7	16.7	14.8	17.1	17.1	14.5	15.7	15.9	16.3	16.8	16.4	16.5	99.3%

#### ②「りずむ」(放課後等デイサービス)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
通所児総数	58	60	74	64	69	72	67	57	70	77	73	85	826	852	96.9%
1日平均	2.9	3.1	3.3	3.2	3.1	3.6	3.3	3.0	3.5	4.0	3.8	3.8	3.4	3.5	97.1%

### (5) 地域交流

#### ボランティア受け入れ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
活動実数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
活動延べ回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、2022年度は外部ボランティアの受け入れを中止した。

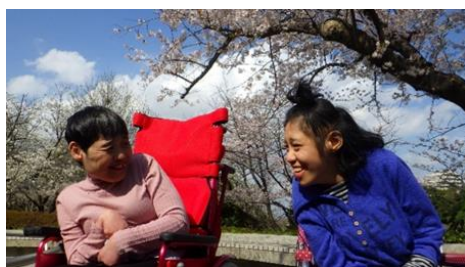
## 4 各部署の報告

### (1) 入所支援課

医療的ケアができる職員を少しずつ育成している。また、看護課と連携しながら、重度化している利用者や看取り段階の利用者についても安全かつ快適なサービスの提供に努めた。外出活動については、感染拡大状況に注意しながら、近隣の公園への散歩や必要最低限の買い物に限定している。

また、面会についても1日2家族まで、1回15分間としてきた。全体的な行事については、ユニット毎に実施するように変更した。日中活動と連携して、ユニット内で行える活動を入所職員と一緒に行うことで、多少なりとも日々の生活の中に変化をもたらすことができた。





## (2) 在宅・通所支援課

### ①短期入所

申込件数、利用件数ともに、例年と比較して大きな変化はないが、4月、8月、1月と施設内でコロナ陽性者が出た時期は短期利用をお断りする件数が多くなった。特に4、8月は利用者に陽性者が出たこともあり、稼働率は半数以下となっている。お断りの内訳としては、施設利用者に感染疑いが生じてPCR検査結果が分かるまで受け入れができない例や、利用者本人に濃厚接触者の疑いが生じたため待期間間となってしまう例などが多かった。新規利用者は25人と例年とほぼ同様の水準だった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計	前年度比
申込件数	56	50	50	46	54	52	49	51	55	45	50	57	615	581	105.8%
利用件数	27	41	48	33	11	39	45	47	47	27	42	44	451	430	104.8%
利用不可※	29	9	2	13	43	13	4	4	8	18	8	13	164	130	126.1%

※利用不可は満床等及び新型コロナウイルス感染症の影響によりキャンセルやお断りが発生し、入所対応ができなかった件数

### ②計画相談

2023年3月末時点で総件数は66件（成人62件児童4件）となっている。2022年度中は感染対策を継続しながらも、徐々に家庭・事業所訪問を再開した。8月に新規に契約し、たっちほどがや長期入所利用者は全員に相談員がついた。長期入所利用者のモニタリング回数を年1回から6ヶ月に1回と、徐々に増やしている。2023年度は新規の受け入れも行っていく予定である。

### ③生活介護

新型コロナウイルスの影響が続き、外出等の制限があったが、地域の感染状況が落ち着いたところで調理やドライブを再開した。

3年間実施出来なかった全体行事は、2022年度は縮小して「ミュージックフェス」を実施。グループに分かれてハンドベルやトーンチャイムの演奏、午後はビンゴ大会を行い、3年前に配付するはずであった景品を渡すことが出来た。利用者からも好評で、ご家族も演奏を聴きたかったとの声があり、次年度は発表会等、ご家族参観を再開していきたい。

感染対策で在宅利用される方も減少し、出席率も上がってきている。祝日利用も7月から通所通り実施した。

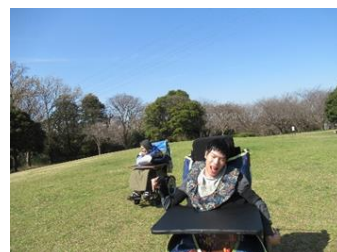


ミュージックフェス



夏季・冬季 たっちリンピック

成人を祝う会



調理

ドライブ

### (3) いずみの課

#### ①生活介護

新型コロナウイルスの影響は続いているが、感染対策も浸透してきたこともあり、前年度を上回る通所者数となった。感染対策を講じながら、以前行っていたプール活動や利用者発案のお楽しみ会の実施など新たな試みを実施した。職員については、後期から欠員補充を行い人員体制が整いつつある。次年度は活動内容を充実するとともに、さらに利用者1人ひとりに寄り添った支援を行う。また、数年間開催ができなかった年度末の家族総会を再開する予定である。



9月 ボーリング



11月 和泉川沿い散策



12月 クリスマスツリー作り

②放課後等

家庭・学校・事業所と連携を取りながら、安全な利用に努めた。また職員の業務配置を工夫し、事業所内での感染拡大防止に取り組んだ。後期から新たに2名の新規利用者を受入れた。児童支援については、次年度も継続して、安心して楽しめる場の提供と成長期に合わせたアプローチを行うなど、細やかな配慮を行っていく。また、ご家族に普段行っている活動等を見ていただく家族参観なども長期休み期間に企画する予定である。



8月 プール 水遊び



10月 ハロウィン

(4) 管理課

職員採用状況

職種	生活支援員	看護師	准看護師	事務員	運転員	事務当直	合計
採用者	20	2	1	1	1	0	25
退職者	9	2	0	0	2	1	14

安定した施設運営のため、生活支援員の人材確保に努める。運転員、事務当直員の退職欠の補充に向けて採用活動を行う。